

取扱説明書 ＜操作・設定編＞

リモートカメラコントローラー 品番 **AW-RP120G**

● 取扱説明書の構成について

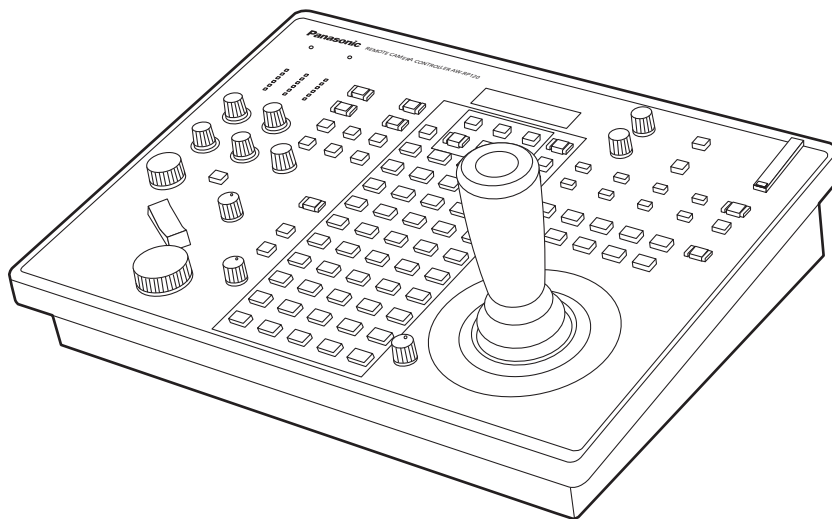
・＜基本編＞：

施工説明や基本的な操作について説明しています。

本機を設置する前に、必ず＜基本編＞をお読みいただき、正しく設置してください。

・＜操作・設定編＞（本書）：

本機の操作や設定のしかたについて説明しています。



リモートカメラの電源の入れかたと切りかた	3	メモリーカードの操作	36
リモートカメラの電源の入れかた	3	メモリーカードのイニシャライズ (INIT)	37
リモートカメラの電源の切りかた	4	メモリーカードへの保存 (SAVE)	37
選択したリモートカメラの映像調整を行う	5	メモリーカードからの読み込み (LOAD)	38
ゲインの設定	6	メモリーカードに保存されたファイルの削除 (DELETE)	38
ペダスタルの設定	6	タリーの設定	39
ホワイトバランスの設定	6	TALLY入力に対応するカメラ番号の登録	39
ブラックバランスの設定	7	本機からリモートカメラへのタリー情報送信の設定	39
カラーバーの選択	8	アラーム情報の確認	40
ディテールの調整	8	アラーム情報を表示する	40
シャッタースピードの調整	8	本機を出荷状態に戻す (INITIALIZE)	41
撮影モード (SCENE 1 ~ SCENE 4) の設定	9	本機を出荷状態に戻す	42
NDフィルターの設定	10	外部機器の制御インターフェース	43
リモートカメラのOSDメニューを操作する	11	セットアップソフトウェア	45
プリセットメモリー (PMEM) を操作する	12	ソフトウェアをインストールする	45
プリセットメモリーの登録 (STORE)	13	パーソナルコンピューターの設定を行う	45
プリセットメモリーの再生 (RECALL)	13	パーソナルコンピューターを接続する	46
プリセットメモリーの削除 (DELETE)	13	Setup Softwareへ本機を登録する	47
プリセットメモリー再生時の動作項目設定		リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う	48
(PRESET SCOPE)	14	ユーザー認証の設定を行う	50
プリセットメモリー設定位置への移動速度 (PRESET SPEED) の		AW-HE2の操作	51
設定	14	設定項目一覧 (専用ダイヤル、ボタン)	52
プリセットメモリーグループ (PMEM GROUP) の操作	16	設定項目一覧 (メニュー)	53
動作モード設定 (SEPARATE/ALL)	16	メッセージ一覧	56
プリセットメモリーのグルーピング	16	ざくいん	58
プリセットメモリーグループの再生	17		
トレーシングメモリー (TMEM) を操作する	18		
トレーシングメモリーの登録 (STORE)	18		
トレーシングメモリーの再生 (RECALL)	19		
トレーシングメモリーの削除 (DELETE)	20		
トレーシングメモリーの修正 (RESTORE)	20		
トレーシングメモリー再生時の再生項目設定	21		
リモートカメラの動作設定を行う	22		
パン/チルト/ズーム/フォーカスの動作速度の調整	22		
PAN/TILT レバーの傾きと速度の設定	22		
パン/チルト/ズーム/フォーカスの動作方向の設定	23		
レンズのズーム最低起動速度の設定	24		
望遠撮影時のパン/チルト動作の速度設定	24		
リモートカメラの可動範囲 (リミッター) の設定	25		
リモートカメラをホームポジションに戻す	25		
リモートカメラに接続されている周辺機器の制御	26		
本機の動作設定を行う	27		
ENABLE ボタンによる各操作の有効/無効	27		
メニュー操作による ENABLE ボタン操作の有効/無効	28		
メニュー操作の有効/無効	28		
フォーカス操作とアイリス操作の入れ替え	29		
LCDパネルのバックライト設定	29		
USER ボタンへ機能を割り当てる	30		
スイッチャーのリンクを設定する	31		
スイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録	31		
スイッチャーとのリンク機能の有効/無効設定	31		
スイッチャーとリンクしたときの各機能を設定する	32		
BUSCONT 機能	32		
FOCUS ASSIST 機能	33		
CAMERA SELECT 表示機能	33		
TALLY IP 機能	34		
PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンでスイッチャーを操作する	34		
CAM INF 機能	35		

リモートカメラの電源の入れかたと切りかた

リモートカメラの電源の入れかた

本機から、スタンバイ状態のリモートカメラの電源を入れることができます。

入れかたには以下の方法があります。

- 1台ずつ電源を入れる
- 本機の電源 (ON) と連動して電源を入れる
- 複数の電源を入れる
 - ◇ すべての電源を入れる
 - ◇ 選択中のカメラグループの電源を入れる

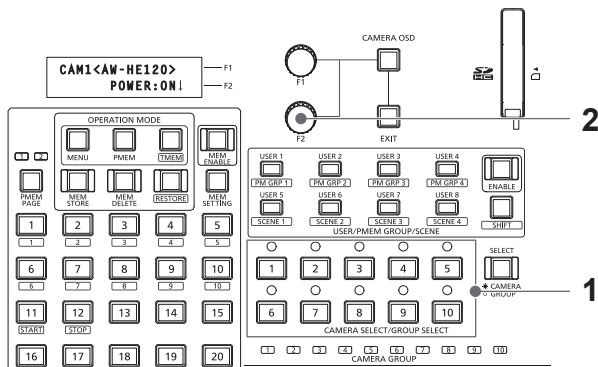
以降にそれぞれの操作について説明します。

1台ずつ電源を入れる

1. リモートカメラを選択する

該当のカメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/GROUP SELECT] を約3秒間長押しすると、LCDパネルの upper段にリモートカメラの名称、下段に「POWER: OFF ↓」が表示されます。

2. カメラ選択ボタンを押したまま F2 ダイアルを回して「ON」を選択し、F2 ダイアルを押す



本機の電源 (ON) と連動して電源を入れる

1. MENU ボタンを ON にする

2. CAMERA SETUP メニュー [24] を開く

3. F1 ダイアルを回して「2. AUTO ON」項目を表示する

2. AUTO ON
On ↓

4. F2 ダイアルを回して「On」を選択し、F2 ダイアルを押す

本機の電源 (ON) と連動して、CTRL TYPE メニュー [36] で、「Serial」、または「Network」に設定されているリモートカメラの電源が入ります。

NOTE

- 接続されているカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでに時間を要することがあります。

複数の電源を入れる

1. MENU ボタンを ON にする

MENU ボタンを押して点灯させます。

2. CAMERA SETUP メニュー [24] を開く

3. F1 ダイアルを回して「1. CAM POWER」項目を表示する

1. CAM POWER
GROUP ON ↓

■ すべての電源を入れる

4. F2 ダイアルを回して「ALL ON」を選択し、F2 ダイアルを押す

1. CAM POWER
ALL ON ↓

■ 選択中のカメラグループの電源を入れる

4. F2 ダイアルを回して「GROUP ON」を選択し、F2 ダイアルを押す

1. CAM POWER
GROUP ON ↓

リモートカメラの電源の切りかた

本機からリモートカメラの電源を切ることができます。
切りかたには以下の方法があります。

- 1台ずつ電源を切る
- 複数の電源を切る
 - ◇ すべての電源を切る
 - ◇ 選択中のカメラグループの電源を切る

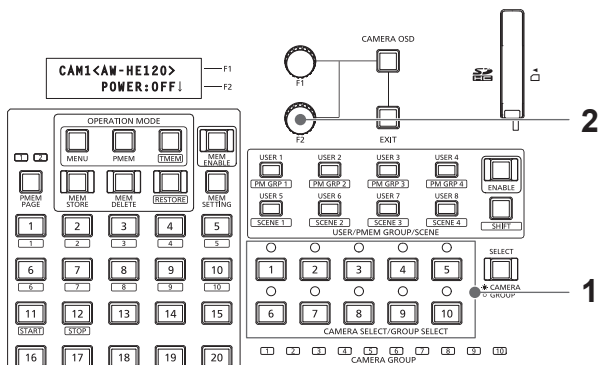
以降にそれぞれの操作について説明します。

1台ずつ電源を切る

1. リモートカメラを選択する

該当のカメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/GROUP SELECT] を約3秒間長押しすると、LCDパネルの上段にリモートカメラの名称、下段に「POWER: ON ↓」が表示されます。

2. カメラ選択ボタンを押したままF2ダイヤルを回して「OFF」を選択し、F2ダイヤルを押す



複数の電源を切る

1. MENU ボタンを ON にする

2. CAMERA SETUP メニュー [24] を開く

3. F1 ダイヤルを回して「1. CAM POWER」項目を表示する

1. CAM POWER
GROUP ON ↓

■ すべての電源を切る

4. F2ダイヤルを回して「ALL OFF」を選択し、F2ダイヤルを押す

1. CAM POWER
ALL OFF ↓

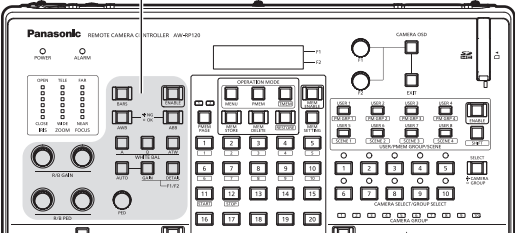
■ 選択中のカメラグループの電源を切る

4. F2ダイヤルを回して「GROUP OFF」を選択し、F2ダイヤルを押す

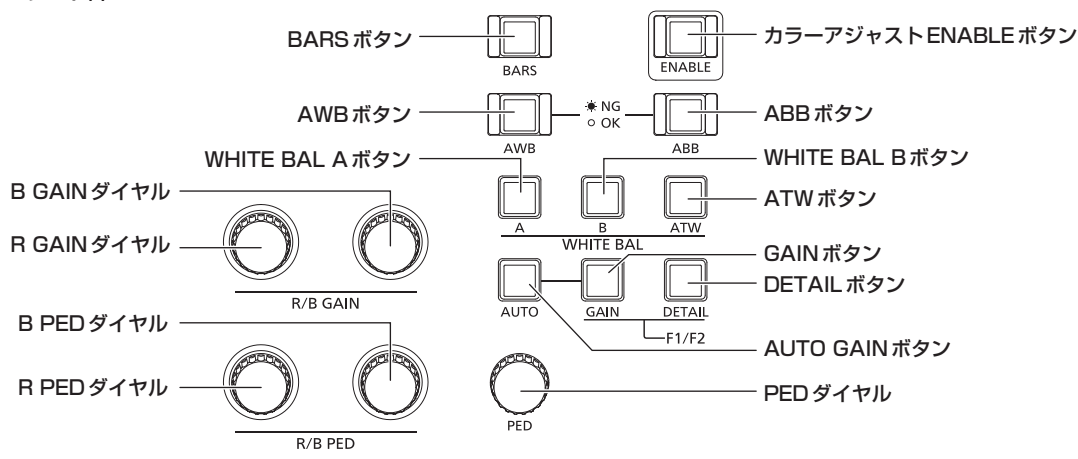
1. CAM POWER
GROUP OFF ↓

選択したリモートカメラの映像調整を行う

選択中のリモートカメラに対して、本機から直接下記の設定や調整が行えます。

<ul style="list-style-type: none"> ● ゲイン ● ペDESTAL ● R/Bゲイン ● R/BペDESTAL ● ホワイトバランス ● ブラックバランス ● カラーバー選択 ● ディテール 	<p>カラーアジャスト部に配置した専用ボタンと専用ダイヤルを使って映像調整を行うことができます。</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ● シャッタースピード 	<p>メニュー操作で映像調整を行うことができます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影モード選択 	<p>SCENE 1 ~ SCENE 4で選択することができます。</p>

<カラーアジャスト部>



- カラーアジャストENABLE ボタンが消灯しているときは、カラーアジャスト部の操作は無効になります。ボタンを押して点灯させた状態で操作を行ってください。
- ゲイン、ペDESTAL、R/Bゲイン、R/BペDESTAL、ディテール、シャッタースピードについては、接続されているリモートカメラによって、設定値の範囲は異なります。
各リモートカメラの設定値の範囲については、「設定項目一覧(メニュー)」(53 ~ 55ページ)を参照してください。
- AW-HE60、AW-HE50を制御しているときは、下記のように、操作に差異があります。
 - ・オートアイリス中(オートアイリスボタンが点灯)は、シャッタースピードが自動で調整されます。このときに本機から設定したシャッタースピード値は、カメラの出力映像に即座に反映されず、マニュアルアイリス(オートアイリスボタンが消灯)にしたときに反映されます。
 - ・撮影モードを「FullAuto」に設定しているときは、以下になります。
 - ・オートゲインモード固定になり、ゲインの設定値を「AUTO」から変更することはできません。
 - ・ATWモード固定になり、R/Bゲインの設定値を変更することはできません。
 - ・オートアイリス固定になり、シャッタースピードの設定値を変更することはできません。
- AW-HE2は、本章で述べる操作と一部異なります。「AW-HE2の操作」(51ページ)を参照してください。

ゲインの設定

暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

1. GAIN ボタンを押す

現在のゲイン設定値が表示されます。

GAIN : 18dB

2. F1 ダイヤルを回して設定値を選択する

- AUTO GAIN ボタンを押すとオートゲインモードになり、光量を自動調整します。
- GAIN ボタンを押した後、F1 ダイヤルの操作を行わずに約3秒経過すると、LCDパネルの表示が元に戻ります。

ペダスタルの設定

複数台のカメラを使用する場合、各カメラが撮影する映像の黒レベル(ペダスタルレベル)を合わせる必要があります。

1. PED ダイヤルを回して設定値を選択する

マイナス方向にするとより黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

- 設定中は、LCDパネルに設定値が表示されます。
- PED ダイヤルを押すと、設定値は変更せずに表示のみ行います。

PED : +150

ホワイトバランスの設定

白を正確に再現するために、RGB (三原色) の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

ホワイトバランスの設定は、照明条件や明るさが変わったときに必要です。また、リモートカメラを初めて使うときや長時間使わなかったときにも必要です。

調整は、自動または手動(自動調整後の微調整)で行い、結果をリモートカメラ内の2つのメモリー(A、B)に記憶しておくことができます。それぞれ、本機のWHITE BAL A ボタン、WHITE BAL B ボタンを押して呼び出すことができます。

このほかに、照明条件に応じてホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス(ATW)モードを選択することができます。

ホワイトバランスの自動調整

1. 選択中のリモートカメラで、白い被写体(白壁や白い紙など)を画面一杯に映す

- 画面に光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

2. WHITE BAL A ボタンを押して点灯させる

3. AWB ボタンを押す

AWB ボタンが点滅し、ホワイトバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、メモリー A に調整結果が登録されます。

調整できなかった場合は、AWB ボタンが点灯します。レンズ絞り、被写体、照明等を変えて再度調整を実施してください。

4. WHITE BAL B ボタンを押して点灯させる

5. AWB ボタンを押す

手順3と同様に、メモリー B に調整結果が登録されます。

- ホワイトバランスの自動調整を行うと、R/B GAIN の設定値が「±0」になります。

選択したリモートカメラの映像調整を行う (つづき)

ホワイトバランスのマニュアル調整 (R/Bゲインの設定)

1. 自動調整のときと同様に、白い被写体を画面一杯に映す
2. 現在選択中のリモートカメラの映像出力を、ウェブフォームモニターに接続する
3. WHITE BAL A ボタンを押して点灯させる
4. R GAIN ダイアルを回してR ch (赤) の設定値を選択し、B GAIN ダイアルを回してB ch (青) の設定値を選択する
メモリー A に調整結果が登録されます。
 - 調整中は、設定値が表示されます。
 - R GAIN ダイアル、B GAIN ダイアルを押すと、設定値は変更せずに表示のみ行います。

R GAIN :	+150
B GAIN :	+150

5. WHITE BAL B ボタンを押して点灯させる
WHITE BAL A ボタンと同様に、手順4の操作を行い、メモリー B を設定します。

自動追尾式ホワイト調整 (ATW)

照明条件に応じてホワイトバランスを自動追尾する、オートトラッキングホワイトバランス (ATW) モードを選択することができます。

1. ATW ボタンを押して点灯させる
ATW モードになります。
 - 画面上に白がない場合、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。
また、照明条件によっては、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。

ブラックバランスの設定

リモートカメラを初めて使うときや長時間使わなかったときにブラックバランスの調整が必要です。
また、周囲温度が大幅に変わったときや季節の変わり目などにもブラックバランスの調整が必要です。
設定内容と同じ条件下で使用する場合は、改めて調整する必要はありません。
新たに調整すると以前のメモリー内容は消去され、新しく設定されたブラックバランスになります。

ブラックバランスの自動調整

1. ABB ボタンを押す
ABB ボタンが点滅し、レンズアイリスを自動的に絞り込んでブラックバランスを調整します。
調整が正常に終了すると消灯し、調整結果が登録されます。
調整ができなかった場合は、ABB ボタンが点灯します。
 - ブラックバランスの自動調整を行うと、R/B PED の設定値が「±0」に戻ります。

ブラックバランスのマニュアル調整 (R/BペDESTALの調整)

1. 現在選択中のリモートカメラの映像出力を、ウェブフォームモニターに接続する
2. オートアイリスボタンを押して消灯させる
3. IRIS ダイアルを回してレンズ絞りを閉じる
4. R PED ダイアルを回してR ch (赤) の設定値を選択し、B PED ダイアルを回してB ch (青) の設定値を選択する
 - 調整中は、設定値が表示されます。
 - R PED ダイアル、B PED ダイアルを押すと、設定値は変更せずに表示のみ行います。

R PED :	+150
B PED :	+150

カラーバーの選択

BARS ボタンを押して、リモートカメラからカラーバー信号を出力できます。

- 消灯 : カメラが撮影している映像信号を出力
- 点灯 : カラーバー信号を出力

ディテールの調整

映像の輪郭 (映像のシャープさ) を調整できます。

1. DETAIL ボタンを押す

現在のディテール設定値が表示されます。

DETAIL :	On	← F1 ダイヤル
LEVEL :	LOW	← F2 ダイヤル

2. F1 ダイヤル、F2 ダイヤルを回して設定値を選択する

シャッタースピードの調整

リモートカメラのシャッターモードとシャッタースピードを選択できます。

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. SHUTTER メニュー [21] を開く

シャッターモードの設定

3. F1 ダイヤルを回して「1. SHUTTER」項目を表示する

1. SHUTTER
Off ↓

4. F2 ダイヤルを回してシャッターモードを選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

Off : 電子シャッターを Off にします。

Step : 「2. SPEED」項目で設定したシャッタースピードで動作します。

Synchro : リモートカメラに設定されたシャッタースピードで動作します。

Synchro モード時のシャッタースピード値は、リモートカメラの OSD メニューで設定します。

詳しくは、リモートカメラの取扱説明書を参照してください。

ELC : 電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

- 接続されているリモートカメラによって、シャッターモードの内容は異なります。該当機種取扱説明書を確認してください。

シャッタースピードの設定

シャッターモードで「Step」を選択した場合は、シャッタースピードを指定できます。

5. F1 ダイヤルを回して「2. SPEED」項目を表示する

2. SPEED
1/100

6. F2 ダイヤルを回してシャッタースピードを調整する

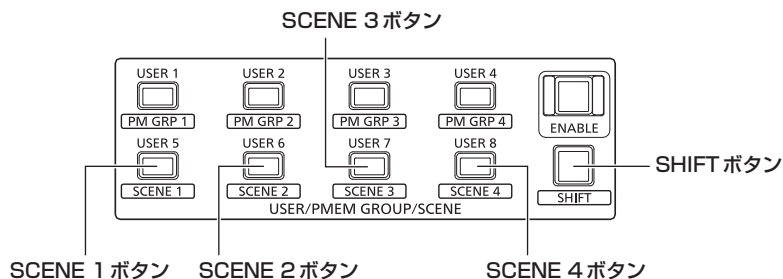
- 接続されているリモートカメラによって、シャッタースピードの設定値は異なります。該当機種取扱説明書を確認してください。

NOTE

- シリアル接続しているリモートカメラについては、一度カメラグループの切り替えを行うと、元のカメラグループに戻したときに、シャッタースピードの値が「1/100」に設定されます。

撮影モード (SCENE 1 ~ SCENE 4) の設定

撮影状況に合わせて、リモートカメラの撮影モード (シーンファイル) を切り替えます。
 撮影モードの切り替えには、SCENE 1 ~ SCENE 4 ボタンを使用します。



1. SHIFT ボタンを押して点灯させる

2. SCENE 1 ボタン ~ SCENE 4 ボタンを押す

押したボタンが点灯し、撮影モードが切り替わります。

- 撮影モードの名称や各モードの動作は、リモートカメラの機種によって異なります。詳しくは、リモートカメラの取扱説明書を参照してください。本機の SCENE 1 ~ SCENE 4 ボタンと、リモートカメラの各撮影モードとの関係は以下のようになります。

本機のボタン	リモートカメラの撮影モード				
	AW-HE120	AW-HE60 AW-HE50	AK-HC1500 AK-HC1800	AW-HE100	AW-HE870 AW-E860 AW-E750 AW-E650 AW-E350
SCENE 1	Scene 1	Manual 1	CURRENT	Halogen	Halogen
SCENE 2	Scene 2	Manual 2	PRESET	Fluorescent	Fluorescent
SCENE 3	Scene 3	Manual 3	USER 1	Daylight	Outdoor
SCENE 4	Scene 4	FullAuto	USER 2	User	User

NDフィルターの設定

選択中のリモートカメラがNDフィルターを内蔵している場合、NDフィルターの設定が行えます。

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. ND FILTER メニュー [22] を開く



3. F2ダイヤルを回して設定値を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

F2ダイヤルを回して表示される値は、接続されているリモートカメラの機種によって異なります。

本機のメニュー表示と、リモートカメラの設定値は下記の通りです。

本機の メニュー表示	リモートカメラの設定値		
	AW-HE120	AK-HC1500 AK-HC1800	AW-HE50 AW-HE60 AW-HE100 AW-HE870 AW-E860 AW-E750 AW-E650 AW-E350 (*)
ND1	Through	Clear	—
ND2	1/4	1/4	—
ND3	1/16	1/16	—
ND4	1/64	1/64	—

(*) F2ダイヤルを回すと、「ND2 ↓」、「ND3 ↓」、「ND4 ↓」と表示されますが、押して確定することはできません。

USER ボタン (USER 1 ~ USER 8) によるNDフィルターの選択

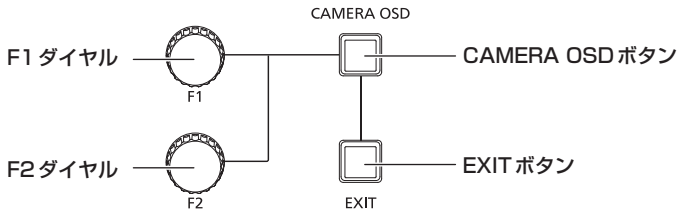
NDフィルターの設定「ND1」～「ND4」を、USER ボタン (USER 1 ~ USER 8) に割り当てて、操作することができます。
⇒「USER ボタンへ機能を割り当てる」(30ページ)

1. USER ボタン (USER 1 ~ USER 8) を押す

選択したボタンが点灯し、該当するNDフィルターが適用されます。

リモートカメラのOSDメニューを操作する

リモートカメラの詳細な設定を行うには、リモートカメラの映像出力に重畳されるメニュー（本書ではOSDメニューと表記します）を操作します。本機から、接続しているリモートカメラのOSDメニューを操作することができます。



1. CAMERA OSD ボタン長押しして点灯させる

選択中のリモートカメラのOSDメニューが表示され、本機から操作できるようになります。

2. OSDメニューを操作する

F1ダイヤル、F2ダイヤル、EXITボタンにより、OSDメニューを操作します。
選択している機種によって操作が異なります。

<操作の一覧>

リモートカメラ	ダイヤル、ボタンの操作	OSDメニューの動作
AW-HE50 AW-HE60 AW-HE120	F1ダイヤルを回す	● 項目を移動する ^(*1) ● 設定値を選択する ^(*2)
	F1ダイヤルを押す	選択されている設定値で変更を確定する
	EXITボタンを押す	選択されている設定値をキャンセルする
AK-HC1500 AK-HC1800 AW-HE870	F1ダイヤルを回す	● 項目を移動する ^(*1) ● 設定値を選択する ^(*2)
	F1ダイヤルを押す	選択されている設定値で変更を確定する
AW-E350 AW-E650 AW-E750 AW-E860 AW-HE100	F1ダイヤルを回す	項目を移動する ^(*1)
	F1ダイヤルを押す	サブメニュー選択を確定する
	F2ダイヤルを回す	● 設定値を直接変更する ^(*3) ● サブメニュー選択を確定する

- (*1) 時計回りに回す : 項目が下へ移動します。
反時計回りに回す : 項目が上へ移動します。
- (*2) 時計回りに回す : 設定値が+方向へ変化します。
反時計回りに回す : 設定値が-方向へ変化します。
- (*3) ダイヤルを回すと、設定値が変わり、即時にリモートカメラに反映します。
時計回りに回す : 設定値が+方向へ変化するとともに値が確定されます。
反時計回りに回す : 設定値が-方向へ変化するとともに値が確定されます。

3. CAMERA OSD ボタンを長押しして消灯させる

本機のメニュー操作ができるようになります。

NOTE

- 本機がリモートカメラのOSDメニューを操作しているときに、他のリモートカメラコントローラーやワイヤレスリモコン等から、同じリモートカメラに対してOSDメニューOFFの操作を行うと、CAMERA OSDボタンの点灯状態とOSDメニューの表示状態が一致せず、OSDメニュー操作が正しく行われなくなります。
このようなときは、本機のCAMERA OSDボタンを長押ししてCAMERA OSDボタンの点灯状態(消灯)とOSDメニューの表示状態(OSDメニュー非表示)を一致させた後、再度CAMERA OSDボタンを長押しして、操作を行ってください。
- リモートカメラのOSDメニューを表示中に、カメラ選択ボタン[CAMERA SELECT/GROUP SELECT]を押して、本機から操作する他のリモートカメラに切り替えると、選択していたリモートカメラのOSDメニューは消去されます。
- 表示されるメニュー項目については、該当機種の取扱説明書を確認してください。

プリセットメモリー (PMEM) を操作する

本機から、リモートカメラのプリセットメモリーを操作することができます。

プリセットメモリーには、事前に調整しておいた下記設定を登録することができます。

- パン/チルト位置
- レンズ絞り (マニュアルアイリスのみ)
- ズーム位置
- ホワイトバランス設定
- フォーカス位置
- ゲイン

NOTE

- MEM ENABLE ボタンが消灯している場合、プリセットメモリーの操作はできません。押して点灯させた状態で操作してください。
- プリセット番号 PMEM1 ~ 10 は、トレーシングメモリー再生時のスタート位置としても使用します。トレーシングメモリーの操作により、プリセットデータが上書きされることがあります。
- プリセットメモリーを登録できる数は、リモートカメラによって異なります。詳しくは、該当機種種の取扱説明書を確認してください。
- ホワイトバランス設定とゲインは、AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120 のプリセットメモリーのみに登録されます。ホワイトバランス設定は、自動調整後のホワイトバランスをマニュアル調整した R/B ゲインの値で補正した状態で登録されます。プリセットメモリーの再生を実行すると、登録時と同じ色調が再現されますが、R/B ゲインの値は 0 になります。

● ページの切り替えについて

数字ボタン [1] ~ [50] を押して、50 個のプリセットメモリーを直接選択することができます。

また、PMEM PAGE ボタンを押してページを切り替えることで、カメラ 1 台につき最大 100 個のプリセットメモリーを操作することができます。



<プリセット番号と登録ページ>

プリセット番号	ページ番号	数字ボタン
PMEM 1 ~ PMEM 50	Page1	[1] ~ [50]
PMEM 51 ~ PMEM 100	Page2	

例：プリセット番号「PMEM 51」を指定する場合

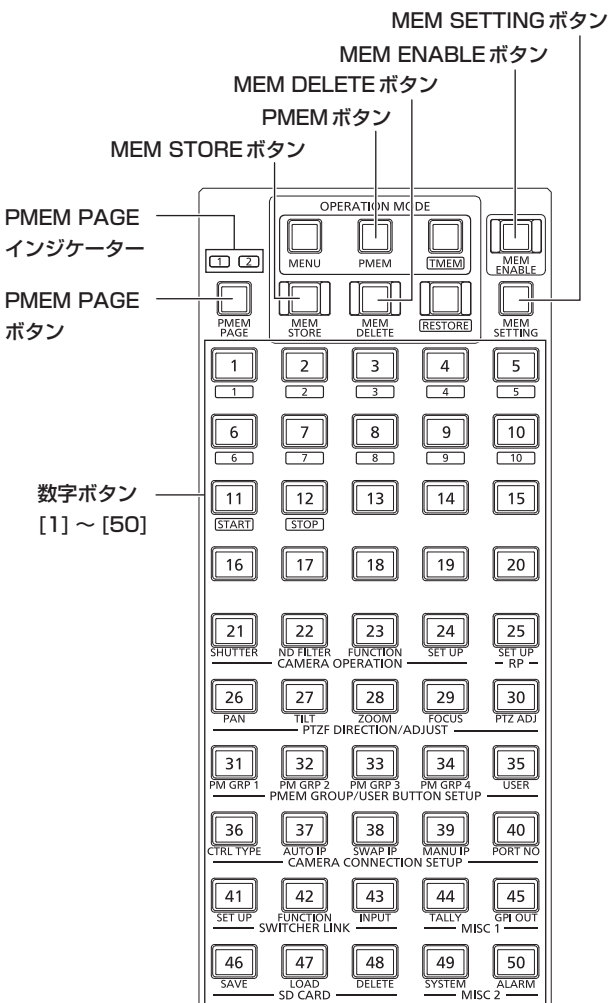
1. PMEM PAGE ボタンを押して、Page2 を選択する
2. 数字ボタン [1] を押す

● 数字ボタンの点灯について

本機が制御しているリモートカメラや回転台によって、数字ボタンの点灯のしかたが異なります。

<数字ボタンの点灯のしかた>

リモートカメラ、回転台	数字ボタンの点灯のしかた
AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120	プリセットメモリーが登録されている数字ボタンが点灯します。
AW-HE100、AW-PH360、AW-PH405、AW-PH650、AW-PH400	最後に押した数字ボタンが点灯します。ただし、DELETE モードでプリセットメモリーを削除したときは、数字ボタンはすべて消灯します。



プリセットメモリーの登録 (STORE)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/
GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを
選択する
2. 撮影する映像をモニターに出力する
3. PMEM ボタンを押して点灯させる
4. MEM STORE ボタンを押して点灯させる
5. PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンを操作して、登録する
カメラアングルを決める
必要に応じてフォーカスとアイリスを調整してください。

6. 数字ボタンを長押しして、登録するプリセット番号を指定
する

LCD パネルの 2 段目に「STORE COMPLETE」と表示され、
現在のカメラ位置や設定がリモートカメラのプリセットメモリーに
登録されます。

- 続けて異なるカメラアングルを、同じ「ページ番号」に属するプ
リセットメモリーに登録するには、手順 5 ~ 6 の操作を繰り返しま
す。

NOTE

- プリセットメモリーの登録を行うときは、数字ボタンを長押
ししてください。
- すでにプリセットメモリーが登録済みの数字ボタンを長押し
した場合は、保存されていたデータを削除して上書きします。
ただし、トレーシングメモリーが登録済みの数字ボタンを長
押ししたときは、LCD パネルに「Used by TMEM.」と表示
され、該当するプリセットメモリーデータは上書きされませ
ん。

プリセットメモリーの再生 (RECALL)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/
GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを
選択する
2. PMEM ボタンを押して点灯させる
3. 数字ボタンを押して、再生するプリセット番号を指定する
登録されていた設定が再生されます。
 - MEM STORE ボタンや MEM DELETE ボタンが点灯している
ときは、数字ボタンを押してもプリセットメモリーは再生されま
せん。
PMEM ボタンを押すか、MEM STORE ボタン、MEM DELETE
ボタンのうち点灯しているボタンを押して消灯させてから、操作
を行ってください。

プリセットメモリーの削除 (DELETE)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/
GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを
選択する
2. PMEM ボタンを押して点灯させる
3. MEM DELETE ボタンを押して点灯させる
4. 数字ボタンを長押しして、削除するプリセット番号を指定
する

LCD パネルの 2 段目に「DELETE COMPLETE」と表示され、登録
されていた設定が削除されます。

NOTE

- プリセットメモリーの削除を行うときは、数字ボタンを長押
ししてください。
- トレーシングメモリーで使用しているプリセット番号を長押
したときは、LCD パネルに「Used by TMEM.」と表示さ
れ、該当するプリセットメモリーデータは削除されません。
⇒ トレーシングメモリーについては、「トレーシングメモリ
ーの削除 (DELETE)」(20 ページ) を参照してください。
- AW-PH400 (AW-IF400 を経由して接続) を制御
しているとき、上記の操作を行うと、LCD パネルに
「DELETE COMPLETE」と表示されますが、プリセットメモ
リーの削除は実行されず、登録されていた設定は保持されま
す。

プリセットメモリー再生時の動作項目設定 (PRESET SCOPE)

プリセットメモリーに登録されている設定をすべて再生するか、一部のみ再生するかを選択できます。

NOTE

- この機能は、AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120を選択しているときに有効です。

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを選択する

2. PMEM ボタンを押して点灯させる

3. MEM SETTING ボタンを押す

選択中のリモートカメラの設定値が表示されます。

SPEED : 30↓
SCOPE : MODE A↓

- 操作をせずに約3秒経過すると、LCDパネルの表示が元に戻ります。

4. F2ダイヤルを回して、「SCOPE」項目の設定値をMODE A～MODE Cから選択し、F2ダイヤルを押して確定する

リモートカメラの設定値が変更されます。

この後プリセットメモリーを再生するときに適用されます。

< SCOPE の設定値と再生される項目 >

設定値	再生される項目		
	パン、チルト、ズーム、フォーカス	アイリス	ホワイトバランス設定、ゲイン
MODE A	○	○	○
MODE B	○	○	—
MODE C	○	—	—

○：再生されます —：再生されません

NOTE

- MODE A～MODE Cは、リモートカメラのプリセットメモリーや本機に登録されません。プリセットメモリー再生時の共通の設定となり、どのプリセット番号を選択しても同じ設定が適用されます。

プリセットメモリー設定位置への移動速度 (PRESET SPEED) の設定

本機から、プリセットメモリー再生時に設定位置まで移動する速度 (PRESET SPEED) を設定することができます。

本機では、PRESET SPEEDの再生モードを以下の2つから選択することができます。

- リモートカメラに設定された共通のPRESET SPEEDで移動する。
- 本機の各プリセット番号に登録したPRESET SPEEDで移動する。

これにより、運用に応じて、各プリセット番号で異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。

NOTE

- 下記の手順で登録した移動速度は、本機内のカメラ番号ごとに登録され、リモートカメラ内のプリセットメモリーには登録されません。このため、移動速度の登録を行った本機とは別のAW-RP120で再生モードを「On」に設定し、プリセットメモリーの再生を行った場合は、同じプリセット番号であっても異なる速度で移動します。

PRESET SPEED をリモートカメラに設定する

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを選択する

2. PMEM ボタンを押して点灯させる

3. MEM SETTING ボタンを押す

選択中のリモートカメラの設定値が表示されます。

SPEED : 30↓
SCOPE : MODE A↓

- 操作をせずに約3秒経過すると、LCDパネルの表示が元に戻ります。

NOTE

- AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120以外のリモートカメラを制御しているときは、該当するリモートカメラに対して、本機で最後に設定した値が表示されます。

4. F1ダイヤルを回して、「SPEED」項目の設定値を選択し、F1ダイヤルを押して確定する

リモートカメラにPRESET SPEED値が設定されます。

設定した値と、プリセットメモリー再生時に設定位置まで移動する速度との関係は以下ようになります。

1 ←————→ 30
遅い 速い

PRESET SPEED を本機に登録する

PRESET SPEED 値を本機のプリセット番号に登録するには、前述の操作に引き続いて以下の操作を行います。

5. MEM STORE ボタンを押して点灯させる

6. 数字ボタンを長押しして、登録するプリセット番号を指定する

現在のリモートカメラの設定がプリセットメモリーに登録されるとともに、PRESET SPEED 値が本機に登録されます。

- 続けて異なる PRESET SPEED を、同じ「ページ番号」に属するプリセットメモリーに登録するには、手順 **3** → **4** → **6** の操作を繰り返します。

PRESET SPEED の再生モードを設定する

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. CAMERA SETUP メニュー [24] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「3. RECALL PST SPD」項目を表示する

3. RECALL PST SPD
Off↓

4. F2 ダイヤルを回して再生モードを選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

Off : プリセットメモリーを再生すると、リモートカメラに設定されている PRESET SPEED 値で、リモートカメラが移動します。

On : プリセットメモリーを再生すると、本機の各プリセット番号に登録された PRESET SPEED 値で、リモートカメラが移動します。

プリセットメモリーグループ (PMEM GROUP) の操作

本機は、複数のリモートカメラのプリセットメモリーを1つずつ選択してグルーピングした「プリセットメモリーグループ」を最大4個まで登録することができます。

PM GRP 1 ~ PM GRP 4 ボタンを押すことで、該当するプリセットメモリーグループに登録したプリセットメモリーを一斉に再生することができます。

以下は例として、PMEM GROUP1 について説明しますが、PMEM GROUP2 ~ PMEM GROUP4 についても設定方法は同様です。

下記メニューを開き、設定を行ってください。

<プリセットメモリーグループとメニュー番号>

プリセットメモリーグループ	メニュー
PMEM GROUP1	PM GRP1 メニュー [31]
PMEM GROUP2	PM GRP2 メニュー [32]
PMEM GROUP3	PM GRP3 メニュー [33]
PMEM GROUP4	PM GRP4 メニュー [34]

プリセットメモリーのグルーピング

SEPARATEモード時に再生されるプリセットメモリーを登録する

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. PM GRP1 メニュー [31] を開く

1. PM GRP1 MODE
SEPARATE↓

3. F1 ダイヤルを回して、「2. PM GRP1 1/10」項目を表示する

2. PM GRP1 1/10
NoAsgn↓ -----

4. F2 ダイヤルを回して、PMEM GROUP1 に登録するカメラ番号とプリセット番号を設定する

F2 ダイヤルを回してカメラ番号を選択し、F2 ダイヤルを押して確定すると、つづいてプリセット番号を選択できます。カメラ番号と同様に設定します。

2. PM GRP1 1/10
CAM001↓ PRE001

カメラ番号 プリセット番号

カメラ番号 : NoAsgn、CAM001 ~ CAM100 から選択します。

「NoAsgn」を設定すると、プリセットメモリーは登録されません。

プリセット番号 : PRE001 ~ PRE100 から選択します。

5. F1 ダイヤルを回して、「3. PM GRP1 2/10」 ~ 「11. PM GRP1 10/10」項目を表示する

6. カメラ番号、プリセット番号を登録する

- 手順4と同様の操作で設定します。
- 1つのグループに、最大10個のプリセットメモリーを登録することができます。

NOTE

- 1つのプリセットメモリーグループに、同じカメラ番号を2つ以上設定しないでください。

動作モード設定 (SEPARATE/ALL)

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. PM GRP1 メニュー [31] を開く

1. PM GRP1 MODE
SEPARATE↓

3. F1 ダイヤルを回して、「1. PM GRP1 MODE」項目を表示する

4. F2 ダイヤルを回して動作モードを選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

- OFF : グルーピングを無効にします。
PM GRP1 ~ PM GRP4 ボタンを押しても、プリセットメモリーグループの再生は行われません。
- SEPARATE : 各リモートカメラから異なるプリセット番号を選んでグルーピングすることができます。
1つのグループに、最大10個のプリセット番号を登録することができます。
- ALL : 各リモートカメラから同じプリセット番号を選んでグルーピングします。
1つのグループに、本機に登録されているすべてのリモートカメラのプリセット番号が1つずつ登録されます。

ALL モード時に再生されるプリセットメモリーを登録する

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. PM GRP1 メニュー [31] を開く

1. PM GRP1 MODE
ALL↓

3. F1 ダイヤルを回して、「12. PM GRP1 ALL」項目を表示する

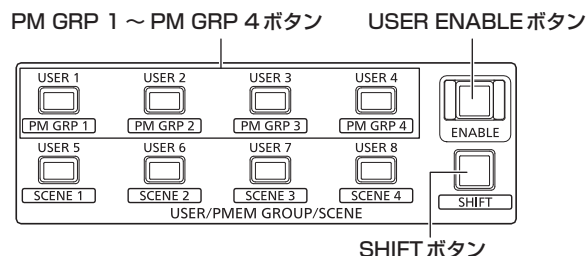
12. PM GRP1 ALL
PRE001↓

4. F2 ダイヤルを回してプリセット番号を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

プリセットメモリーグループの再生

ボタンを押して再生する

プリセットメモリーグループの再生には、PM GRP 1 ~ PM GRP 4 を使用します。



1. SHIFT ボタンを押して点灯させる

2. PM GRP 1 ボタンを押す

PMEM GROUP1 の動作モード設定が「SEPARATE」のとき：
「2. PM GRP1 1/10」 ~ 「11. PM GRP1 10/10」項目で登録した各リモートカメラのプリセットメモリーが一斉に再生されます。

PMEM GROUP1 の動作モード設定が「ALL」のとき：
本機に登録されている全リモートカメラにおいて、「12. PM GRP1 ALL」項目で登録したプリセットメモリーが再生されます。

- CTRL TYPE メニュー [36] で、「NoAssign」に設定されているリモートカメラではプリセットメモリーは再生されません。

NOTE

- USER ENABLE ボタンが点灯している場合、PM GRP1 ~ PM GRP4 ボタンの操作はできません。点灯させた状態で操作してください。

GPI入力により再生する

本機背面の TALLY/GPI 端子の接点入力により、プリセットメモリーグループを再生することができます。

<ピン番号とプリセットメモリーグループ>

ピン番号	信号名	対応するプリセットメモリーグループ
19	GPI IN 1	PMEM GROUP 1
7	GPI IN 2	PMEM GROUP 2
20	GPI IN 3	PMEM GROUP 3
8	GPI IN 4	PMEM GROUP 4

⇒「外部機器の制御インターフェース」(43ページ)

トレーシングメモリー (TMEM) を操作する

本機には、接続しているリモートカメラに対して行った一連の操作を記録するトレーシングメモリー (TMEM) を内蔵しています。リモートカメラが動作した軌跡を再現することができます。

<トレーシングメモリー>

記録対象	カメラ番号CAM1～CAM10
記録可能な機能	パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、ホワイトバランスモード
記録時間	最大5分/各カメラ
記録メモリー数	最大10個/各カメラ
登録ボタン	数字ボタン[1]～[10]

NOTE

- MEM ENABLE ボタンが消灯している場合、トレーシングメモリーの操作はできません。点灯させた状態で操作してください。
 - プリセットメモリーのプリセット番号PMEM1～10は、トレーシングメモリー再生時のスタート位置として使用するため、トレーシングメモリーの登録操作を行うと、上書きされます。
 - リモートカメラの動きの誤差により、トレーシングメモリー再生時の最終点が、記録時と合わないことがあります。以下のような注意をすることで誤差を軽減することができます。
 - レンズのズームをWIDE側(広角側)で使う
 - パン・チルト、ズーム、フォーカスをゆっくり動かす
 - 記録時間を短くする
- トレーシングメモリーの再生を数回実行し、リモートカメラの動作を十分確認したうえで、運用を開始してください。

トレーシングメモリーの登録 (STORE)

- カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/ GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを選択する
- 撮影する映像をモニターに出力する
- TMEM ボタンを押して点灯させる
トレーシングメモリーの状態が表示されます。
トレーシングメモリー登録済みの数字ボタンが点灯します。

選択中のカメラ番号

CAM01:TMEM
3m50s Remained.

記録可能な残時間(最大5m00s)

NOTE

- プリセットメモリーが登録済みのボタンであっても、トレーシングメモリーが未登録のボタンは点灯しません。

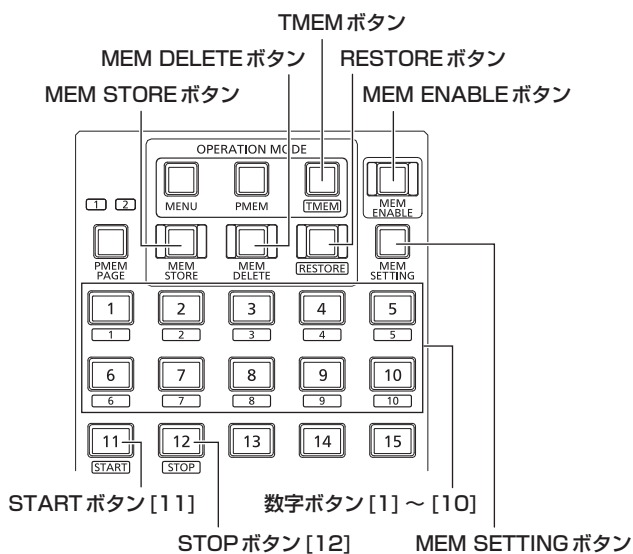
- MEM STORE ボタンを押して点灯させる

- PAN/TILT レバーと ZOOM ボタンを操作して、登録するカメラアングルを決める

必要に応じてフォーカス、アイリス、ホワイトバランスを調整してください。

- フォーカス操作、アイリス操作をトレーシングメモリーに記録する場合は、オートフォーカスボタン、オートアイリスボタンを押して消灯させた状態で、操作を行ってください。

<トレーシングメモリー操作部>



6. 数字ボタン [1] ~ [10] のうち、消灯しているボタンを長押しして、トレーシングメモリー番号を指定する

現在のカメラ位置や設定がリモートカメラのプリセットメモリーに登録され、再生時のスタート位置になります。
長押しした数字ボタンと START ボタン [11] が点滅します。(記録スタンバイ状態)

- この時点で PAN/TILT レバーなど記録対象となる操作をした場合は、記録スタンバイ状態が解除され手順 3 の状態に戻ります。

トレーシングメモリー番号

TM05:
Standby Store

NOTE

- 点灯しているボタンに登録したい場合は、すでに登録されているトレーシングメモリーの削除を行ってから登録を行ってください。
- プリセットメモリーが登録されている番号と同じボタンを長押しした場合は、保存されていたプリセットメモリーを削除して上書きします。

7. START ボタン [11] を押す

START ボタン [11] が点灯します。(操作待ち状態)

TM05:
Waiting Opr.

8. PAN/TILT レバー、ZOOM ボタン、FOCUS ダイアル、IRIS ダイアル、ホワイトバランスモード選択ボタンのいずれかを操作する

操作した時点からトレーシングメモリーの記録を開始します。

記録時間

TM05:0m02s
Storing...

9. STOP ボタン [12] を押す

記録が停止し、トレーシングメモリーが保存されます。
登録された数字ボタンが点灯して、手順 3 の状態に戻ります。

- 記録可能な時間がなくなると、自動で記録が停止します。
このとき、停止する時点までの操作が記録されます。

トレーシングメモリーの再生 (RECALL)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを選択する

2. TMEM ボタンを押して点灯させる

トレーシングメモリーの状態が表示されます。
トレーシングメモリー登録済みの数字ボタンが点灯します。

選択中のカメラ番号

CAM01:TMEM
3m50s Remained.

記録可能な残時間 (最大 5m00s)

NOTE

- プリセットメモリーが登録済みのボタンであっても、トレーシングメモリーが未登録のボタンは点灯しません。

3. 点灯している数字ボタンを押して、トレーシングメモリー番号を指定する

リモートカメラがスタート位置に移動します。
押した数字ボタンと START ボタン [11] が点滅します。(再生スタンバイ状態)

TM03:0m00s/0m59s
Standby Recall

4. START ボタン [11] を押す

トレーシングメモリーが再生され、リモートカメラが動き出します。
START ボタン [11] が点灯します。

再生中のトレーシングメモリーの総時間

現在の再生位置

TM03:0m20s/0m59s
Recalling...

5. 記録されている時間が経過すると、自動的に停止する

点滅していた数字ボタンが点灯、START ボタン [11] が消灯し、手順 2 に戻ります。

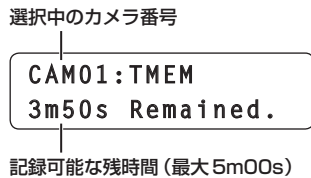
- 再生中に STOP ボタン [12] を押す、または PAN/TILT レバーなど記録対象となる操作をした場合は、再生を停止し、手順 2 に戻ります。

トレーシングメモリーの削除 (DELETE)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/ GROUP SELECT] を押して、操作するリモートカメラを選択する

2. TMEM ボタンを押して点灯させる

トレーシングメモリーの状態が表示されます。
トレーシングメモリー登録済みの数字ボタンが点灯します。



NOTE

- プリセットメモリーが登録済みのボタンであっても、トレーシングメモリーが未登録のボタンは点灯しません。

3. MEM DELETE ボタンを押して点灯させる

4. 数字ボタン [1] ~ [10] のうち、点灯しているボタンを長押しして、トレーシングメモリー番号を指定する

登録されていたプリセットメモリー (スタート位置) とトレーシングメモリーが消去されます。

トレーシングメモリーの修正 (RESTORE)

記録したトレーシングメモリーデータの一部を書き替えることができます。

例えば、PAN/TILT 操作は記録済みのデータを残したままで、ZOOM 操作だけを記録し直すことができます。もしくは、記録した PAN/TILT 操作の前半部分のデータを残したままで、後半だけを記録し直すことができます。

- 記録されているトレーシングメモリーデータのうちの任意の区間だけを修正することはできません。

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/ GROUP SELECT] を押して、本機から制御するリモートカメラを選択する

2. 撮影する映像をモニターに出力する

3. TMEM ボタンを押して点灯させる

トレーシングメモリーの状態が表示されます。
トレーシングメモリー登録済みの数字ボタンが点灯します。



NOTE

- プリセットメモリーが登録済みのボタンであっても、トレーシングメモリーが未登録のボタンは点灯しません。

4. RESTORE ボタンを押して点灯させる

5. 数字ボタン [1] ~ [10] のうち、点灯しているボタンを押す
リモートカメラがスタート位置に移動します。

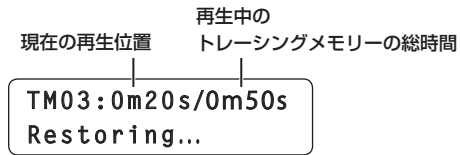
押した数字ボタンと START ボタン [11] が点滅します。(修正スタンバイ状態)

- この時点で PAN/TILT レバーを操作するとスタート位置を変更することができます。

TM03:0m00s/0m50s
Standby Restore

6. START ボタン [11] を押す

トレーシングメモリーが再生され、リモートカメラが動き出します。



7. PAN/TILT レバー、ZOOM ボタン、FOCUS ダイアル、IRIS ダイアル、ホワイトバランスモード選択ボタンのいずれかの操作をして修正を行う

修正操作をした時点から、書き替えられます。

NOTE

- 記録されているトレーシングメモリーデータのうちの任意の区間だけを修正することはできません。操作を行うと、その時点以降の登録データは消去されますので、記録時間が終了するまで操作を続け、新たなデータを登録し直してください。

8. 記録されている時間が経過すると、自動的に停止する

手順3に戻ります。

- 再生中にSTOP ボタン [12] を押すと、再生が中止します。トレーシングメモリーの総時間が変更され、手順3に戻ります。

トレーシングメモリー再生時の再生項目設定

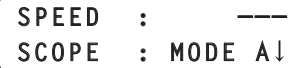
トレーシングメモリーに登録されている項目をすべて再生するか、一部のみ再生するかを選択できます。

NOTE

- この機能は、AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120 を選択しているときに有効です。

1. MEM SETTING ボタンを押す

現在の設定値が表示されます。



- 操作をせずに約3秒経過すると、LCDパネルの表示が元に戻ります。

2. F2 ダイアルを回して、「SCOPE」項目の設定値をMODE A ~ MODE C から選択し、F2 ダイアルを押して確定する

本機の設定値が変更されます。

この後トレーシングメモリーを再生するときに適用されます。

< SCOPE の設定値と再生される項目 >

設定値	再生される項目		
	パン、チルト、ズーム、フォーカス	アイリス	ホワイトバランスモード
MODE A	○	○	○
MODE B	○	○	—
MODE C	○	—	—

○：再生されます —：再生されません

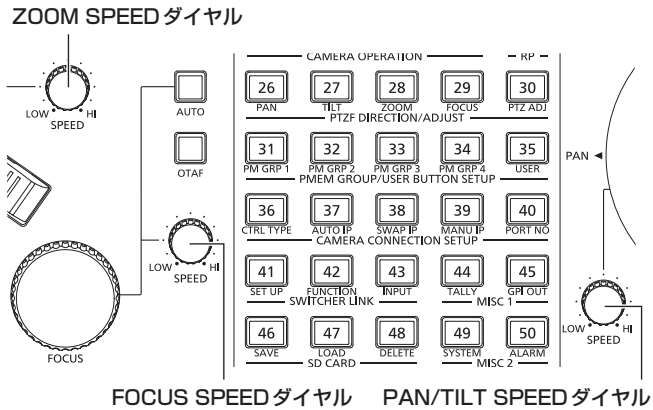
この操作を行うと、同時にリモートカメラのPRESET SCOPEの設定も同じ設定値に変更されます。

⇒「プリセットメモリー再生時の動作項目設定 (PRESET SCOPE)」(14ページ)

リモートカメラの動作設定を行う

パン/チルト/ズーム/フォーカスの動作速度の調整

本機では、PAN/TILTレバー、ZOOMボタン、FOCUSダイヤル、各操作に対するリモートカメラの動作速度を、専用ダイヤルを使って個別に調整することができます。



■ SPEEDダイヤルの操作

- 時計方向に回す : 高速で動く (HI)
- 反時計方向に回す : 低速で動く (LOW)

PAN/TILTレバーの傾きと速度の設定

PAN/TILTレバーを傾けたときの角度と動作速度の関係を調整することができます。

1. MENUボタンを押す

2. RP SETUPメニュー [25] を開く

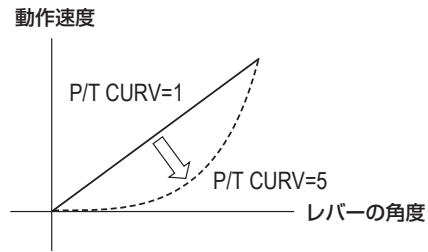
3. F1ダイヤルを回して、「2. P/T CURV」項目を表示する

2. P/T CURV

1↓

4. F2ダイヤルを回して設定値を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- 値を大きくするほど、レバーを倒し始めたときの動作が緩やかになります。



パン/チルト/ズーム/フォーカスの動作方向の設定

PAN/TILTレバー、ZOOMボタン、FOCUSダイヤルの操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。
本機では、カメラ番号ごとに向きを設定することができます。

パン方向の設定

PAN/TILTレバーの水平方向の操作に対するリモートカメラの水平方向の動作を設定します。

1. MENU ボタンを押す
2. PAN DIRECTIONメニュー [26] を開く
3. F1ダイヤルを回して、設定を行うカメラ番号を表示する

1 . CAM1
NORMAL↓

4. F2ダイヤルを回して「NORMAL」/「REVERSE」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する
NORMAL : PAN/TILTレバーを左側に倒すとリモートカメラが左方向に動作し、右側に倒すと右方向に動作します。
REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。

チルト方向の設定

PAN/TILTレバーの前後方向の操作に対するリモートカメラの上下方向の動作を設定します。

1. MENU ボタンを押す
2. TILT DIRECTIONメニュー [27] を開く
3. F1ダイヤルを回して、設定を行うカメラ番号を表示する

1 . CAM1
NORMAL↓

4. F2ダイヤルを回して「NORMAL」/「REVERSE」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する
NORMAL : PAN/TILTレバーを向こう側に倒すとリモートカメラが上方向に動作し、手前側に倒すと下方向に動作します。
REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。

ズーム方向の設定

ZOOMボタンの操作に対するレンズのズーム動作を設定します。

1. MENU ボタンを押す
2. ZOOM DIRECTIONメニュー [28] を開く
3. F1ダイヤルを回して、設定を行うカメラ番号を表示する

1 . CAM1
NORMAL↓

4. F2ダイヤルを回して「NORMAL」/「REVERSE」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する
NORMAL : ZOOMボタンのTELE側を押すとズーム動作が望遠側に動作し、WIDE側を押すと広角側に動作します。
REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。

フォーカス方向の設定

FOCUSダイヤルの操作に対するレンズのフォーカス動作を設定します。

1. MENU ボタンを押す
2. FOCUS DIRECTION メニュー [29] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、設定を行うカメラ番号を表示する

1. CAM1
NORMAL↓

4. F2 ダイヤルを回して「NORMAL」/「REVERSE」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

NORMAL : FOCUSダイヤルを右に回すとフォーカス動作が遠距離側に動作し、左に回すと近距離側に動作します。

REVERSE : NORMAL と逆方向に動作します。

レンズのズーム最低起動速度の設定

ZOOM ボタンをゆっくり押し込んだときにレンズズームがスムーズに動き始めるように、本機から送信するズーム制御量を補正します。

1. MENU ボタンを押す
2. PTZ ADJUST メニュー [30] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、「1. Z MIN SPEED」項目を表示する

1. Z MIN SPEED
Off↓

4. F2 ダイヤルを回して補正量を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

- 補正量は「1」で最も少なく、「8」で最も多くなります。「Off」にすると補正しない状態になります。ZOOM ボタンをゆっくりと押し込み、レンズのズームがスムーズに動き始めるかをモニター上で映像を見ながら確認します。

望遠撮影時のパン/チルト動作の速度設定

望遠撮影のときに、リモートカメラのパン/チルト動作を遅くして、位置を合わせやすくします。

1. MENU ボタンを押す
2. PTZ ADJUST メニュー [30] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、「2. SPEED WITH Z」項目を表示する

2. SPEED WITH Z
Off↓

4. F2 ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

- On** : 望遠撮影のときのパン/チルト動作が遅くなります。
- Off** : 通常ので移動します。

NOTE

- この機能は、AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120 と接続した場合に有効です。

リモートカメラの可動範囲 (リミッター) の設定

設置場所によっては、リモートカメラの可動範囲内に障害物があり、パン、チルト操作をしたときにリモートカメラが接触する場合があります。リモートカメラが障害物に接触すると、故障や事故の原因になりますので、障害物の手前でリミッターを設定し、接触を防ぐ必要があります。また、可動範囲に撮影の対象としたくない被写体がある場合にもリミッターを設定します。

本機から、上限・下限・左限・右限それぞれの方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。

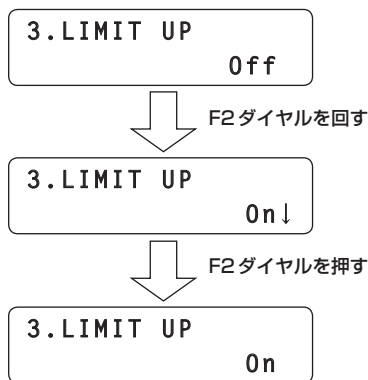
設定の手順

1. MENU ボタンを押す
2. PTZ ADJUST メニュー [30] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、「3. LIMIT UP」項目を表示する

■ AW-HE50、AW-HE60、AW-HE120 の場合

4. F2 ダイヤルを回して「On」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

現在選択されているリモートカメラの上方向の位置が上限値として設定され、リミッターが有効になります。
(設定値はリモートカメラに記憶されます)

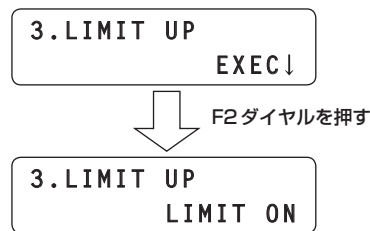


- F2 ダイヤルを回して「Off ↓」を表示させた状態でF2 ダイヤルを押して確定すると、リミッターが解除されます。

■ 他のリモートカメラの場合

4. F2 ダイヤルを押して確定する

現在選択されているリモートカメラの上方向の位置が上限値として設定され、リミッターが有効になります。
(設定値はリモートカメラに記憶されます)



- ここでF2 ダイヤルを回した場合、またはF1 ダイヤルを回して他の項目を表示した後で「3. LIMIT UP」項目に戻った場合は、LCDパネルの2段目に「EXEC ↓」が再度表示されます。このときにF2 ダイヤルを押すと「LIMIT OFF」と表示され、リミッターが解除されます。

5. F1 ダイヤルを回して、「4. LIMIT DOWN」、「5. LIMIT LEFT」、「6. LIMIT RIGHT」項目を表示する
手順4と同様に操作を行い、下限、左限、右限の設定を行います。

メニュー項目	設定対象
LIMIT UP	上限
LIMIT DOWN	下限
LIMIT LEFT	左限
LIMIT RIGHT	右限

リモートカメラをホームポジションに戻す

予めリモートカメラが記憶しているホームポジションの位置にカメラの向きを移動します。

NOTE

- リモートカメラにホームポジションとして記憶されている位置を変更することはできません。

1. MENU ボタンを押す
2. CAMERA SETUP メニュー [24] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、「5. HOME POSITION」項目を表示する

5. HOME POSITION
SET↓

4. F2 ダイヤルを押す

リモートカメラがホームポジションに移動します。

リモートカメラに接続されている周辺機器の制御

リモートカメラに接続された周辺機器を制御することができます。これらの制御は、FUNCTIONメニュー [23] で操作します。

1. MENU ボタンを押す

2. FUNCTIONメニュー [23] を開く

ACアダプター AW-PS300Aの制御

本機でAW-PH360を制御しているとき、AW-PH360を経由して、ACアダプター AW-PS300Aの制御を行うことができます。

- AW-PH360とAW-PS300Aの接続のしかたについては、各機器の取扱説明書を参照してください。

■ オプションスイッチコントロール出力端子の制御

AW-PS300Aのオプションスイッチコントロール出力端子 [OPTION SW CONTROL OUT] の短絡 / 開放を制御します。

3. F1ダイヤルを回して「1. OPTION」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して「Off」 / 「On」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : OPTION SW CONTROL OUT 端子を短絡します。
Off : OPTION SW CONTROL OUT 端子を開放します。

NOTE

- AW-HE60を接続しているときは、「1. OPTION」項目で通常撮影モードとナイトモードの切り替えを行います。
On : ナイトモードになります。
Off : 通常撮影モードになります。

ナイトモードに設定すると、通常では撮影が困難な低照度下においても、被写体に赤外線を照射することで撮影が可能になります。また、映像出力は白黒映像になります。AW-HE60の取扱説明書も併せて参照してください。

■ ランプ用ACアウトレットの制御

AW-PS300Aのランプ用ACアウトレット [LAMP AC OUT] のON/OFFを制御します。

3. F1ダイヤルを回して「5. LAMP」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して「Off」 / 「On」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : LAMP AC OUT 端子が有効
Off : LAMP AC OUT 端子が無効

デフロスターの制御

選択中のリモートカメラにデフロスター機能がある場合 (AW-PH650+カメラ)、デフロスターを制御します。

3. F1ダイヤルを回して「2. DEFROSTER」項目を表示する

4. F2ダイヤルを回して「Off」 / 「On」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する



ワイパーの制御

選択中のリモートカメラにワイパー機能がある場合 (AW-PH650+カメラ)、ワイパーを制御します。

3. F1ダイヤルを回して「3. WIPER」項目を表示する

4. F2ダイヤルを回して「Off」 / 「On」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する



ヒーター / ファンの制御

選択中のリモートカメラにヒーター / ファン機能がある場合 (AW-PH650+カメラ)、ヒーター / ファンを制御します。

3. F1ダイヤルを回して「4. HEATER/FAN」項目を表示する

4. F2ダイヤルを回して「Off」 / 「On」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する



本機の動作設定を行う

ENABLE ボタンによる各操作の有効 / 無効

本機には、5つのENABLEボタンがあります。

それぞれのENABLEボタンを使用して、以下に示す操作の単位ごとで有効 / 無効を設定することができます。

カラーアジャストENABLEボタン

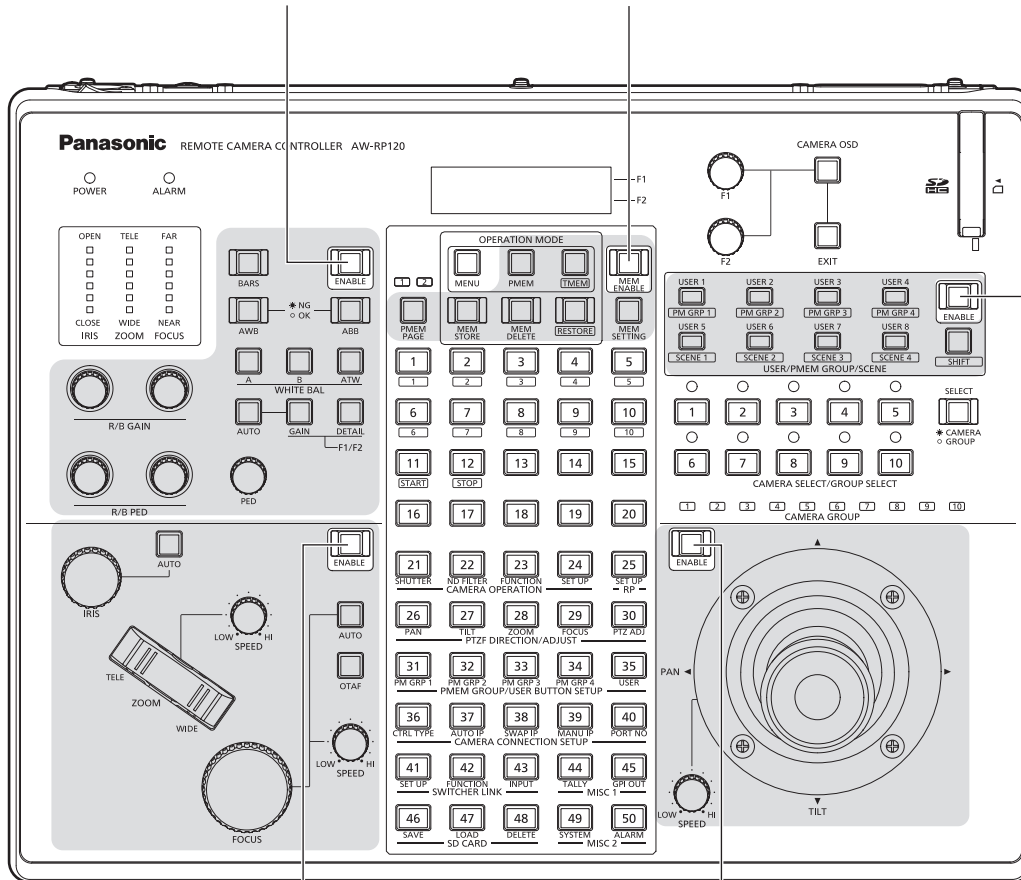
- カラーアジャスト部の操作

MEM ENABLEボタン

- メモリー（プリセットメモリー、トレーシングメモリー）操作

USER ENABLEボタン

- USERボタン操作



FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタン

- FOCUSダイヤル、ZOOMボタン、IRISダイヤル操作

PAN/TILT ENABLEボタン

- PAN/TILTレバー操作

1. ENABLEボタンを押す

ボタンの点灯状態が変化します。

点灯、または点滅 : 該当する機能の操作が有効

消灯 : 該当する機能の操作が無効

- MEM ENABLEボタンが消灯していても、メニュー操作は行うことができます。
- PAN/TILTレバーでスイッチャーの操作をしているときは、PAN/TILT ENABLEボタンは点滅します。
⇒「PAN/TILTレバーとZOOMボタンでスイッチャーを操作する」(34ページ)
- ZOOMボタンでスイッチャーの操作をしているときは、FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンは点滅します。
⇒「PAN/TILTレバーとZOOMボタンでスイッチャーを操作する」(34ページ)
- メニュー操作にて、ENABLEボタン操作を無効に設定しているときは、ENABLEボタンの操作が効かなくなります。
⇒「メニュー操作によるENABLEボタン操作の有効 / 無効」(28ページ)

メニュー操作による ENABLE ボタン操作の有効 / 無効

メニュー操作で、ENABLE ボタンの操作の有効 / 無効を設定することができます。

無効に設定すると、ENABLE ボタンを押しても状態を変えることができなくなり、誤操作を防ぐことができます。

1. MENU ボタンを押す

2. RP SETUP メニュー [25] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「4. ENABLE BUTTON」項目を表示する

4. ENABLE BUTTON
ACTIVE↓

4. F2 ダイヤルを回して「ACTIVE」 / 「LOCK」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

ACTIVE : ENABLE ボタンの操作が有効

LOCK : ENABLE ボタンの操作が無効

- 「LOCK」に設定すると、ENABLE ボタンの状態 (点灯状態と該当する操作の有効 / 無効) は保持されますが、ENABLE ボタンの操作が効かなくなります。

メモ

- 背面の TALLY/GPI 端子 (GPI 入力 : GPI IN 5) に外部機器を接続することで、外部機器から「4. ENABLE BUTTON」項目を制御することができます。

GPI IN 5 を On に設定するたびに (30 ms 以上)、「4. ENABLE BUTTON」項目の設定が、「ACTIVE」 / 「LOCK」と切り替わります。

メニュー操作の有効 / 無効

メニュー操作の有効 / 無効を設定することができます。

有効から無効に設定する

1. MENU ボタンを押す

2. RP SETUP メニュー [25] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「5. MENU CONTROL」項目を表示する

4. F2 ダイヤルを回して「LOCK」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

5. MENU CONTROL
LOCK↓



5. MENU CONTROL
LOCK

メニュー操作が無効になります。

メニューが割り当てられた数字ボタンを押しても、LCD パネルに「LOCKED!」と表示され、メニューを開くことができません。

- メニュー操作を無効に設定しても、メモリー操作 (プリセットメモリー、トレーシングメモリー) は行うことができます。

無効から有効に設定する

1. MENU ボタンを押す

LCD パネルに以下の表示がされます。

5. MENU CONTROL
LOCK

2. F2 ダイヤルを回して「ACTIVE」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

メニュー操作が有効になります。

5. MENU CONTROL
ACTIVE↓

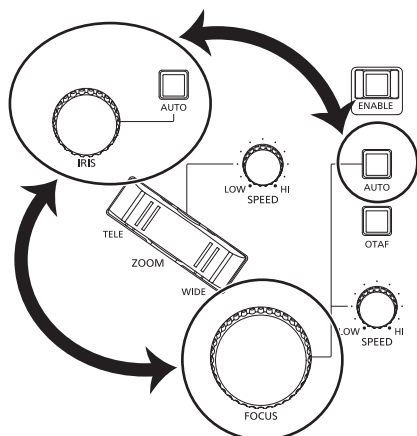
メモ

- 背面の TALLY/GPI 端子 (GPI 入力 : GPI IN 6) に外部機器を接続することで、外部機器から「5. MENU CONTROL」項目を制御することができます。

GPI IN 6 を On に設定するたびに (30 ms 以上)、「5. MENU CONTROL」項目の設定が「ACTIVE」 / 「LOCK」と切り替わります。

フォーカス操作とアイリス操作の入れ替え

FOCUS ダイアルと IRIS ダイアルの操作を入れ替えることができます。



1. MENU ボタンを押す
2. RP SETUP メニュー [25] を開く
3. F1 ダイアルを回して、「1. FOCUS/IRIS」項目を表示する

1. FOCUS/IRIS
STANDARD↓

4. F2 ダイアルを回して「EXCHANGE」 / 「STANDARD」を選択し、F2 ダイアルを押して確定する

EXCHANGE : FOCUS ダイアルと IRIS ダイアルの操作を入れ替えます。

- 「EXCHANGE」に設定すると、オートフォーカスボタン、オートアイリスボタンの操作も入れ替わります。
ワンタッチオートフォーカスボタンは無効になります。
FOCUS SPEED ダイアルの操作は無効になります。
(EXCHANGE に変更した時の SPEED に固定されます)

STANDARD : FOCUS ダイアルと IRIS ダイアルの操作をもとに戻します。

LCD パネルのバックライト設定

LCD パネルのバックライト (点灯 / 消灯) 設定をすることができます。また、自動でバックライトを消灯させることもできます。

1. MENU ボタンを押す
2. RP SETUP メニュー [25] を開く
3. F1 ダイアルを回して、「3. LCD BACKLIGHT」項目を表示する

3. LCD BACKLIGHT
Off↓

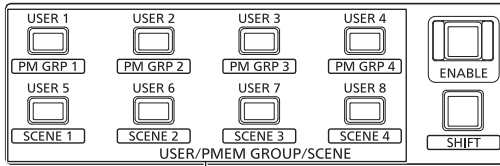
4. F2 ダイアルを回して設定値を選択し、F2 ダイアルを押して確定する

- On : バックライトが点灯
Off : バックライトが消灯
60、120、180 : 設定した時間内 (60分、120分、180分) に本機の操作が行われないと、自動的にバックライトを消灯します。
時間が経過してバックライトが消灯した後、本機の操作を行うとバックライトが点灯します。

USER ボタンへ機能を割り当てる

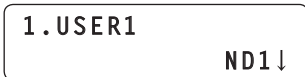
8つのUSERボタン (USER 1 ~ USER 8) に、機能を割り当てることができます。

USERボタン (USER 1 ~ USER 8) を押すだけで、目的の機能を動作させることができます。



USERボタン (USER 1 ~ USER 8)

1. MENU ボタンを押す
2. USER BUTTON メニュー [35] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、設定したいUSERボタン (USER 1 ~ USER 8) を表示する
4. F2 ダイヤルを回して機能を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する



選択可能な機能	USER ボタンを押したときの動作				
ND1、 ND2、 ND3、 ND4	機能を割り当てたUSERボタンを押すと、該当するNDフィルターが選択され、ボタンが点灯します。 選択されるNDフィルター値は、制御しているリモートカメラによって異なります。				
	<選択されるNDフィルター値>				
		割り当てる機能			
	リモートカメラ	ND1	ND2	ND3	ND4
	AW-HE120	Through	1/4	1/16	1/64
	AK-HC1500 AK-HC1800	Clear	1/4	1/16	1/64
	AW-HE100 AW-HE60 AW-HE50 AW-HE870 AW-E860 AW-E750 AW-E650 AW-E350	—	—	—	—
	— : 機能を割り当てられたUSERボタンを押してもリモートカメラの設定は変わりません。				
SWLINK、 BUSCONT、 FASSIST、 CAMSEL、 CAMINF、 TALLY_IP	これらの機能は、スイッチャーとのリンク機能を使用するときに割り当てます。 ⇒「スイッチャーのリンクを設定する」(31ページ)、 「スイッチャーとリンクしたときの各機能を設定する」(32 ~ 35ページ)				
POWER OFF	機能を割り当てたUSERボタンを長押しすると、ボタンが一瞬点灯し、接続されているすべてのリモートカメラに対して、電源OFFの要求を送ります。				
CAM_PINP DISP、 CAM_PINP CTL、 CAM_PINP POS	これらの設定値は、HDインテグレートドカメラAW-HE2を接続しているときに割り当てます。 ⇒「AW-HE2の操作」(51ページ)				

NOTE

- USERボタンに割り当てられた機能を実行するときは、SHIFTボタンを押してボタンを消灯させてから操作してください。SHIFTボタンが点灯中にUSERボタンを押すと、プリセットメモリーグループの呼び出し、またはリモートカメラの撮影モード選択が実行されます。

スイッチャーのリンクを設定する

別売のスイッチャーと、本機をリンクするための設定を行います。スイッチャーとのリンク機能を使用するためには、予め下記の設定を行う必要があります。

■ 本機とスイッチャーとの接続設定

<基本編>「リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う」(29ページ)を参照してください。

■ スwitchャー側での設定

<AW-HS50>
以下の設定を行ってください。

- 本機とのリンク機能を有効にする
[13] Operation Menuの「10. CamCont Link」項目を「On」に設定します。
- 本機が送信したリモートカメラ名称を表示する
[10] Input Menuの「10.1】SDI-IN1 ~ 「10.4】SDI-IN4の「4. Name Type」項目、もしくは「10.5】DVI-INの「2. Name Type」項目を「CAM Name」に設定します。
- マルチビュー映像を出力しているときに、本機で選択中のリモートカメラ映像の子画面の左下にアイコンを表示する
[8] MultiView Out/Frame Menuの「6. Input Status」項目を「On」に設定します。

詳細は、AW-HS50の取扱説明書を参照してください。

<AV-HS6000>

AV-HS6000と本機をリンクするには、AV-HS6000にプラグインソフトウェアの登録が必要になります。

詳細は、AV-HS6000シリーズの取扱ガイドを参照してください。また、プラグインソフトウェアの使い方は、AV-HS6000 Series Plug-inソフトウェアの操作説明書を参照してください。AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

■ スwitchャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録

本章を参照してください。

■ スwitchャーとのリンク機能の有効 / 無効設定

本章を参照してください。

スイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録

この操作は、AW-HS50およびAV-HS6000とリンクするときに必要な操作です。AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

1. MENU ボタンを押す

2. SW INPUTメニュー [43] を開く

3. F1ダイヤルを回して、設定を行うスイッチャーの入力信号を表示する



入力信号：1. INPUT1 ~ 100. INPUT100から選択します。

4. F2ダイヤルを回して、対応するカメラ番号を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

スイッチャーとのリンク機能の有効 / 無効設定

本機とスイッチャーのリンク機能全体の有効 / 無効を設定します。

1. MENU ボタンを押す

2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

3. F1ダイヤルを回して、「1. SWLINK」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : スwitchャーとのリンク機能が有効
Off : スwitchャーとのリンク機能が無効

5. F1ダイヤル回して、「2. SW TYPE」項目を表示する



6. F2ダイヤルを回して、接続するスイッチャー「HS50」 / 「HS6000」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- HS50 : AW-HS50とリンクします。
HS6000 : AV-HS6000とリンクします。

メモ

- リンク機能の有効 / 無効を、USER ボタンに割り当てることができます。
USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」 ~ 「8. USER8」項目を表示し、「SWLINK」を設定する
- 「SWLINK」を割り当てたUSER ボタンを押すと、以下のように動作します。
点灯 : スwitchャーとのリンク機能が有効
消灯 : スwitchャーとのリンク機能が無効

NOTE

- 1台のスイッチャーとリンク可能なAW-RP120やAW-RP50は1台までです。
このため、別のAW-RP120やAW-RP50がすでにリンクしているスイッチャーとは、本機はリンクすることはできません。
すでにリンクしている機器のリンク機能を無効にしたうえで、本機のリンク機能を有効にしてください。
- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

スイッチャーとリンクしたときの各機能を設定する

本機とスイッチャーがリンクしているときに使用できる機能を設定します。

各機能については、SW FUNCTIONメニュー [42]、SW INPUTメニュー [43] で事前に設定が必要です。

⇒「スイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録」(31 ページ)

⇒「スイッチャーとのリンク機能の有効/無効設定」(31 ページ)

BUSCONT 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2. SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。

本機からスイッチャーのバス素材を選択します。

BUSCONT 機能を有効にすると、本機のカメラ選択に連動して、スイッチャーのバス素材を選択することができます。

NOTE

- AUTO IPメニュー [37]、SWAP IPメニュー [38]、MANUAL IPメニュー [39] でカメラ番号のリンク設定を変更したときや、SW INPUTメニュー [43] でスイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号を変更したときには、BUSCONT 機能を有効にしてもスイッチャーのバス素材は即座に切り替わりません。カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、選択し直してください。
- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

BUSCONT 機能の有効 / 無効の設定

1. MENU ボタンを押す

2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「3. BUSCONT」項目を表示する

3. BUSCONT

Off↓

4. F2 ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

On : BUSCONT 機能が有効

Off : BUSCONT 機能が無効

メモ

- BUSCONT 機能の有効 / 無効を、USER ボタンに割り当てることができます。

USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」～「8. USER8」項目を表示し、「BUSCONT」を設定する

- 「BUSCONT」を割り当てた USER ボタンを押すと、以下のように動作します。

点灯 : BUSCONT 機能が有効

消灯 : BUSCONT 機能が無効

BUSCONT 機能で制御するスイッチャーバスの設定

BUSCONT 機能が有効のとき、本機のカメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] で制御するスイッチャーバスを設定します。

1. MENU ボタンを押す

2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「4. BUS」項目を表示する

4. BUS

AUX↓

4. F2 ダイヤルを回して設定値を選択し、F2 ダイヤルを押して設定する

< 「HS50」の場合 >

AUX : スwitchャーのAUXバスが制御対象

PVW : スwitchャーのPVWバスが制御対象

PinP : スwitchャーのPinPバスが制御対象

KEY : スwitchャーのKEYバスが制御対象

< 「HS6000」の場合 >

AUX1-16 : スwitchャーのAUXバスが制御対象

ME1PVW : スwitchャーのME1のPVWが制御対象

ME1KEY1-S/F、ME1KEY2-S/F、ME1KEY3-S/F、ME1KEY4-S/F

: スwitchャーのME1のKEY1～4F/Sが制御対象

ME2PVW : スwitchャーのME2のPVWが制御対象

ME2KEY1-S/F、ME2KEY2-S/F、ME2KEY3-S/F、ME2KEY4-S/F

: スwitchャーのME2のKEY1～4F/Sが制御対象

DSK1-S/F、DSK2-S/F、DSK3-S/F、DSK4-S/F

: スwitchャーのDSK1～4F/Sが制御対象

- AV-HS6000は「メインフレーム」Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

FOCUS ASSIST 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。
スイッチャーのAUXバスを制御し、「マルチビュー映像」と「選択中のリモートカメラ映像」の切り替えを行います。
この機能をUSERボタンに割り当てると、1つのボタン操作で、選択中のリモートカメラの映像を画面一杯に表示することができ、フォーカス調整などに最適です。

- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

FOCUS ASSIST 機能の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「5. FOCUS ASSIST」項目を表示する

5. FOCUS ASSIST
Off↓

4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する
On : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、本機で選択中のリモートカメラの映像に切り替わります。
Off : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、マルチビュー映像に切り替わります。

メモ

- FOCUS ASSIST 機能をUSERボタンに割り当てることができます。
USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」 ~ 「8. USER8」項目を表示し、「FASSIST」を設定する
- 「FASSIST」を割り当てたUSERボタンを押すと、以下のように動作します。
点灯 : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、本機で選択中のリモートカメラの映像に切り替わります。
消灯 : スイッチャーから出力しているAUXバスの映像が、マルチビュー映像に切り替わります。
- SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS6000」のときは、MV (HS6000のMV4固定) をAUX1 ~ 16のどこに出力するかの設定として、SW FUNCTIONメニュー [42]のMVへのBUSの割り当てを行ってください。
6. MV OUTBUS : AUX1 ~ 16

CAMERA SELECT 表示機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。
スイッチャーがマルチビュー映像を出力時に、本機が選択中のリモートカメラ映像の子画面の左下にアイコンを表示します。

- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」のVer. 3.00以上をお使いください。

CAMERA SELECT 機能の有効 / 無効の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「7. CAMERA SELECT」項目を表示する

7. CAMERA SELECT
Off↓

4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する
On : CAMERA SELECT 表示機能が有効
Off : CAMERA SELECT 表示機能が無効

メモ

- SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS6000」のときは、「CAMERA TITLE 名+ (@)」という名称がAV-HS6000の<CONF>ボタン → 「SOURCE NAME」 → 「MV NAME」に反映され、表示されます。

TALLY IP 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。
TALLY IPを有効にすると、スイッチャーからネットワーク経由でOAタリー情報を受信することができます。
受信したOAタリー情報に基づき、本機のカメラステータス表示ランプや、リモートカメラのタリーランプの点灯状態が変わります。

- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」の Ver. 3.00以上をお使いください。

TALLY IP機能の有効/無効の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「8. TALLY_IP」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する
On : TALLY IP機能が有効
Off : TALLY IP機能が無効

- スwitchャーから受信したタリー情報に基づいて、リモートカメラに対してタリーランプの点灯指示を送信するためには、CAMERA SETUPメニュー [24]の「4. TALLY OUT」項目を表示し、「On」に設定する必要があります。

NOTE

- 本機が選択していないカメラグループに属するカメラ番号に対してタリー情報を受信した場合も、該当するリモートカメラに対してタリーランプの点灯指示を送信します。

PAN/TILTレバーとZOOMボタンでスイッチャーを操作する

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2.SW TYPE」の設定が「HS50」のときに有効な機能です。
本機のPAN/TILTレバー、ZOOMボタンを操作して、スイッチャーの設定値 (PinPの位置やサイズなど) を変更することができます。

PAN/TILTレバー、ZOOMボタンの用途の設定

1. MENU ボタンを押す
2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「9. P/T/Z CONTROL」項目を表示する



4. F2ダイヤルを回して設定値を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

CAM :

PAN/TILTレバーとZOOMボタンにより、本機が選択中のリモートカメラの操作をします。

SW :

PAN/TILTレバーとZOOMボタンにより、スイッチャーの設定値を変更します。

Button Select :

PAN/TILTレバーとZOOMボタンの操作対象の選択 (リモートカメラ/スイッチャー) を、PAN/TILT ENABLEボタンやFOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンを押すことで行います。

上記各設定値において、PAN/TILT ENABLEボタン、FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタンを押したとき、ボタンの点灯状態は、以下のように変化します。

<各ENABLEボタンを押したときの点灯状態の変化>

設定値	点灯状態
CAM	点灯 → 消灯 ↑
SW	点滅 → 消灯 ↑
Button Select	点灯 → 点滅 → 消灯 ↑

各ENABLEボタンの点灯状態における動作は以下のようになります。

<PAN/TILT ENABLEボタン>

ボタンの状態	PAN/TILTレバーを操作したときの動作
点灯	リモートカメラが、水平/上下方向に動きます。
点滅	スイッチャーの状態により以下のような動作になります。 ● Wipe Menuを開いているとき トランジションの開始位置 (X、Y) が左右/上下に動きます。 ● PinP Menuを開いているとき PinPの位置 (X、Y) が左右/上下に動きます。 ● 映像出力にクロマキーマーカーが重畳されているとき クロマキーマーカーの位置 (X、Y) が左右/上下に動きます。
消灯	操作が無効になります。

<FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタン>

ボタンの状態	ZOOMボタンを操作したときの動作
点灯	リモートカメラのレンズのズームが変化します。
点滅	スイッチャーの状態により以下のような動作になります。 ● PinP Menuを開いているとき PinPのサイズが変化します。 ● 映像出力にクロマキーマーカーが重畳されているとき クロマキーマーカーのサイズが変化します。
消灯	操作が無効になります。

CAM INF 機能

SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2. SW TYPE」の設定が「HS50」および「HS6000」のときに有効な機能です。
本機が取得したリモートカメラの設定情報を、スイッチャーのAUXバス出力映像またはマルチビュー映像に表示することができます。

- 選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラの設定情報が表示されます。
- シリアル接続されたリモートカメラの設定情報は、カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT/GROUP SELECT] で選択されているときだけ表示されます。
- AV-HS6000は「メインフレーム」 Ver. 3.00以上、プラグインソフトウェアは「External Control」の Ver. 3.00以上をお使いください。

CAM INF 機能の有効/無効の設定

1. MENU ボタンを押す

2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「10. CAM INF」項目を表示する

10. CAM INF
Off ↓

4. F2 ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : CAM INF 表示機能が有効
Off : CAM INF 表示機能が無効

メモ

- CAM INF 機能の有効/無効を、USER ボタンに割り当てることができます。
USER BUTTONメニュー [35] → 「1. USER1」 ~ 「8. USER8」項目を表示して、「CAMINF」を設定する
- 「CAMINF」を割り当てたUSER ボタンを押すと、以下のように動作します。
点灯 : CAMINF 機能が有効
消灯 : CAMINF 機能が無効

スイッチャーの映像出力に重畳するリモートカメラ設定情報の選択

1. MENU ボタンを押す

2. SW FUNCTIONメニュー [42] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「11. CAMINF_FORMAT」 ~ 「18. CAMINF_ALARM」から項目を表示する

11. CAMINF_FORMAT
On ↓

}

18. CAMINF_ALARM
On ↓

11. CAMINF_FORMAT : ① 映像フォーマット

(リモートカメラの映像フォーマットが認識できない場合は、ブランクになります)

12. CAMINF_CNAME : ② リモートカメラの名称

(SW FUNCTIONメニュー [42] → 「2. SW TYPE」の設定が「HS6000」のときは、「CAMERA TITLE 名+ (@)」という名称が表示されます。)

13. CAMINF_SCENE : ③ 撮影モード

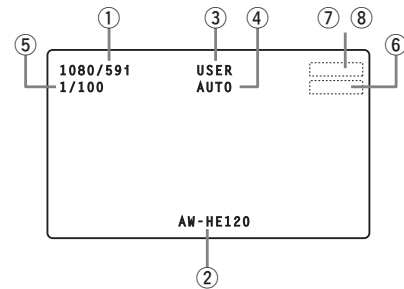
14. CAMINF_GAIN : ④ GAINの値

15. CAMINF_SHUTTER : ⑤ シャッターの情報 (ON/OFF、SHUTTER値)

16. CAMINF_IRIS : ⑥ IRISの値

17. CAMINF_FILTER : ⑦ フィルターの情報

18. CAMINF_ALARM : ⑧ リモートカメラのアラーム情報



4. F2 ダイヤルを回してそれぞれの項目の「On」 / 「Off」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

- On : スイッチャーでの表示を有効
Off : スイッチャーでの表示を無効

- リモートカメラによっては、CAMINF_IRIS、CAMINF_FILTERが表示されないものがあります。(下記参照)

	CAMINF_IRIS	CAMINF_FILTER
AW-HE120	—	○
AW-HE60、AW-HE50	—	—
AW-HE100	○	—
AW-HE870	○	—
AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350	—	—
AK-HC1500、AK-HC1800	○	○

○ : 表示されます — : 表示されません

メモリーカードの操作

本機は、メモリーカードを使用して、以下の操作を行うことができます。

SAVE：本機やリモートカメラの設定データを、メモリーカードに保存します。

LOAD：メモリーカードに保存された設定データを、本機やリモートカメラに読み込みます。

< SAVE、LOADの対象となるデータ >

データの種別	データの内容	ファイル名称*1	SAVE/LOAD
RPDAT	本機の設定データ*2	RP01.s12 ~ RP99.s12	SAVE、LOAD
CAM	リモートカメラが記憶している設定データ*3	RP01.c12 ~ RP99.c12	SAVE、LOAD
RPMEM	本機が記憶しているメモリー関連のデータ*4	RP01.m12 ~ RP99.m12	SAVE、LOAD
UPG	本機のバージョンアップファイル	V****.r5d ~ V****.r5d	LOADのみ
LOG	本機の操作ログ	RP01.log ~ RP99.log	SAVEのみ

*1：本機でSAVEを行うと、上記のファイル名称が自動で付与されます。

また、本機でSAVEを行った後、パーソナルコンピューターでファイル名称を変更することができます。

- ファイル名称について
RPDAT : *****.s12
CAM : *****.c12
RPMEM: *****.m12

上記、*****の部分は、「半角英数字で8文字以内」としてください。それ以外のファイル名を使用すると、本機で正しく表示されないことがあります。

*2：本機のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定、およびユーザー認証の設定(ユーザー名、パスワード)は、SAVE、LOAD対象外です。

*3：選択中のリモートカメラ1台分のデータ(以下)がSAVE、LOAD対象になります。

- 各撮影モード(シーンファイル)の設定内容
- プリセットメモリーデータ
- Systemの設定内容

*4：以下のデータがSAVE、LOAD対象になります。

- トレーシングメモリーデータ
カメラ番号CAM1 ~ CAM10すべてのデータ
- PRESET SPEED
カメラ番号CAM1 ~ CAM100すべてのプリセット番号に設定されたPRESET SPEED値

NOTE

- シリアル接続したリモートカメラは、CAM項目でのSAVE、LOADはできません。
- 「RPMEM」には、プリセットメモリーデータは含まれません。このため、SAVE時と異なるリモートカメラを接続した場合は、「RPMEM」を本機にLOADしただけでは、トレーシングメモリー再生時のスタート位置が再現されません。リモートカメラを交換する場合には、「CAM」のSAVE、LOADも行ってください。

メモリーカード取り扱い時の注意

- メモリーカードアクセスランプが点灯および点滅している間は、絶対にメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードアクセスランプが点灯および点滅している間にメモリーカードを抜くと、メモリーカードに保存された内容が失われる場合があります。
- メモリーカードに保存した内容は、メモリーカードの紛失や誤操作などにより失われる可能性があります。大切なデータは、コンピューターなどに保存されることをおすすめします。

● メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD規格/SDHC規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

なお、SDXCメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)には対応していません。

SD	8 MB ~ 2 GBまで
SDHC	4 GB ~ 32 GBまで

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

- 使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。
 - ・高温・多湿を避ける。
 - ・水滴を付けない。
 - ・帯電を避ける。

メモリーカードのイニシャライズ (INIT)

本機でメモリーカードを使用する前に、必ず、本機でメモリーカードのイニシャライズを行ってください。

イニシャライズを実行することにより、メモリーカードのフォーマット (SD規格に準拠) を行い、専用ディレクトリーを作成します。

NOTE

- イニシャライズを行うと、メモリーカードに保存されているファイルはすべて消去され、元に戻すことができません。大切なファイルはコンピューターに保存しておいてください。

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. SD DELETE メニュー [48] を開く

DEL MODE :RPDAT↓

3. F1 ダイヤルを回して「INIT」項目を表示し、F1 ダイヤルを押して確定する

DEL MODE :INIT
EXEC↓

4. F2 ダイヤルを押す

メモリーカードのイニシャライズを開始します。

- メモリーカードが挿入されていない場合は、「NO CARD!」と表示されます。

INITIALIZING...
NOT REMOVE CARD



COMPLETE

- イニシャライズが完了すると、「COMPLETE」と表示されます。
- イニシャライズに失敗すると、「INITIAL ERROR!」と表示されます。メモリーカードを交換し、再度イニシャライズを実行してください。

メモリーカードへの保存 (SAVE)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、リモートカメラを選択する

2. MENU ボタンを押して点灯させる

3. SD SAVE メニュー [46] を開く

SAVE MODE:RPDAT↓

4. F1 ダイヤルを回して、メモリーカードに保存するデータの種別を選択し、F1 ダイヤルを押して確定する

LCD パネルの 2 段目に、選択したデータ種別に応じ自動付与されたファイル名が表示されます。

SAVE MODE:RPMEM
RP10.m12↓

- データ種別は、RPDAT、RPMEM、CAM、LOG から選択できます。ただし、シリアル接続しているリモートカメラを選択しているときは、CAM、RPMEM は選択できません。
- 本機から、SAVE するファイル名称を変更することはできません。
- メモリーカードが挿入されていない場合は、「NO CARD!」と表示されます。
- 1 つのメモリーカードには、RPDAT、RPMEM、CAM、LOG それぞれについて、最大 99 個のファイルが保存可能です。すでに 99 個のファイルが存在している場合は、「OVER 99FILES!」と表示され、保存はできません。ファイルの削除を行ったうえで、再度保存を行ってください。⇒「メモリーカードに保存されたファイルの削除 (DELETE)」(38 ページ)

5. F2 ダイヤルを押して確定する

メモリーカードへの保存を開始します。

SAVING...
NOT REMOVE CARD



COMPLETE

- 保存が完了すると、「COMPLETE」と表示されます。
- 保存に失敗すると、「SAVE ERROR!」と表示されます。メモリーカードを交換し、再度保存を実行してください。

メモリーカードからの読み込み (LOAD)

1. カメラ選択ボタン [CAMERA SELECT / GROUP SELECT] を押して、リモートカメラを選択する

2. MENU ボタンを押して点灯させる

3. SD LOAD メニュー [47] を開く

LOAD MODE:RPDAT↓

4. F1 ダイヤルを回して、メモリーカードから読み込むデータの種別を選択し、F1 ダイヤルを押して確定する
LCD パネルの 2 段目に、メモリーカードに保存されているファイルが表示されます。

LOAD MODE:RPMEM
RP10.m12↓

- データ種別は、RPDAT、RPMEM、CAM、UPG から選択できます。ただし、シリアル接続しているリモートカメラを選択しているときは、CAM、RPMEM は選択できません。
- メモリーカードが挿入されていない場合は、「NO CARD!」と表示されます。

5. F2 ダイヤルを回してファイルを選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

メモリーカードからデータを読み込み、本機や選択中のリモートカメラへの転送を開始します。

- 選択中のリモートカメラに読み込めないファイルを指定したとき (機種が異なるリモートカメラのファイルを指定したときなど) は、「LOAD ERROR!」と表示されます。

LOADING...
NOT REMOVE CARD

COMPLETE

- 読み込みが完了すると、「COMPLETE」と表示されます。
- 読み込みに失敗すると、「LOAD ERROR!」と表示されます。メモリーカードへの保存→読み込みを再度実施してください。それでも読み込みができない場合は、メモリーカードを交換してください。

NOTE

- データ種別として「UPG」を選択して LOAD を実行したときは、データの読み込みが完了した後、本機の再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

メモリーカードに保存されたファイルの削除 (DELETE)

1. MENU ボタンを押して点灯させる

2. SD DELETE メニュー [48] を開く

DEL MODE :RPDAT↓

3. F1 ダイヤルを回して、削除するデータの種別を選択し、F1 ダイヤルを押して確定する

LCD パネルの 2 段目に、メモリーカードに保存されているファイル名が表示されます。

DEL MODE :RPMEM
RP10.m12↓

- データ種別は、RPDAT、RPMEM、CAM、LOG から選択できます。「INIT」を選択したときの動作は、「メモリーカードのイニシャライズ (INIT)」(37 ページ) を参照してください。
- メモリーカードが挿入されていない場合は、「NO CARD!」と表示されます。

4. F2 ダイヤルを回して、削除するファイルを選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

ファイルが削除されます。

COMPLETE

- 削除が完了すると、「COMPLETE」と表示されます。
- 削除に失敗すると、「DELETE ERROR!」と表示されます。必要なファイルをコンピューターに保存し、メモリーカードのイニシャライズを実行してください。

タリーの設定

本機は、スイッチャーなど外部機器のタリー情報を、背面の TALLY/GPI 端子 (TALLY 入力) とネットワークの 2 つの経路から受信することができます。

受信したタリー情報に応じて本機のカメラステータス表示ランプやリモートカメラのタリーランプを点灯させるには、以下の設定を行う必要があります。

■ TALLY 入力に対応するカメラ番号の登録

背面の TALLY/GPI 端子 (TALLY 入力) からの信号 TALLY IN1 ~ TALLY IN10 を使用する場合に設定が必要です。

本章を参照してください。

■ スイッチャーの映像入力に対応するカメラ番号の登録

ネットワーク経由で受信したタリー情報を使用する場合に設定が必要です。

「スイッチャーのリンクを設定する」(31 ページ) を参照してください。

■ 本機からリモートカメラへのタリー情報送信の設定

本章を参照してください。

■ リモートカメラ側での設定

タリーランプを点灯させるためには、リモートカメラ側の設定が必要です。

該当機種取扱説明書を参照してください。

TALLY 入力に対応するカメラ番号の登録

1. MENU ボタンを押す

2. TALLY メニュー [44] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、TALLY 入力端子番号を選択する

1. TALLY IN1
CAM1↓

入力端子番号 : TALLY IN1 ~ TALLY IN10 から選択します。

4. F2 ダイヤルを回して、カメラ番号を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

カメラ番号 : CAM1 ~ CAM100 から選択します。

本機からリモートカメラへのタリー情報送信の設定

1. MENU ボタンを押す

2. CAMERA SETUP メニュー [24] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、「4. TALLY OUT」項目を表示する

4. TALLY OUT
Off↓

4. F2 ダイヤルを回して「On」 / 「Off」を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する

On : リモートカメラへタリー情報を送信します。

Off : リモートカメラへタリー情報を送信しません。

NOTE

- 1 台のリモートカメラに、複数のリモートカメラコントローラー (本機や AW-RP50) が接続されているとき、各リモートカメラコントローラーが送信するタリー情報が一致せず、リモートカメラのタリーランプが正しく点灯しない場合があります。このようなときは、1 台のリモートカメラコントローラーだけを「On」に設定し、それ以外のリモートカメラコントローラーは「Off」に設定してください。

アラーム情報の確認

本機の電源や、選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラに異常があると、本機のALARMランプが点灯し、GPI OUT 端子 (GPI OUT 5) の出力が On になります。
このときにメニュー操作をすると、アラーム情報を確認することができます。

アラーム情報を表示する

1. MENU ボタンを押す

2. ALARM メニュー [50] を開く

3. F1 ダイヤルを回して、確認したい項目を表示する

LCD パネルの下端にアラームの状態が表示されます。

1. POWER
No ALARM

<各アラームの内容>

[1. POWER を選択]

本機の電源アラームが確認できます。

No ALARM :

電源が正常なとき

ALARM :

電源に異常があるとき

[2. CAM### ~ 11. CAM### を選択] (*1)

現在選択中のカメラグループに含まれるカメラ番号のアラーム情報が表示されます。

No ALARM :

正常

FAN ALM :

冷却ファン異常

P/T ALM :

PAN/TILT 動作異常

FAN ALM+P/T ALM :

冷却ファンと PAN/TILT 動作異常

(*1) CAM### は、選択中のカメラグループに含まれるカメラ番号です。
例えば、カメラグループ「10」を選択しているとき、F1 ダイヤルを回すと、LCD パネルの上段には、「2. CAM91」～「11. CAM100」と表示されます。

NOTE

- アラームが発生した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。
そのまま使用すると、本機やリモートカメラが故障する原因となることがあります。

本機を出荷状態に戻す (INITIALIZE)

本機で記憶している設定値を、出荷状態に戻す (INITIALIZE) ことができます。

また、INITIALIZE を実行すると、本機で記憶しているデータや以下の状態も出荷状態に戻ります。

INITIALIZE 実行時に、「ALL」 / 「SETUP」のいずれかを選択することができます。

- ALL** : すべての設定を出荷状態に戻す (INITIALIZE する)
SETUP : 一部の設定のみを出荷状態に戻す (INITIALIZE する)

NOTE

- リモートカメラで記憶している設定値の INITIALIZE については、リモートカメラの取扱説明書を参照してください。

< INITIALIZE されるデータ、状態 (ALL、SETUP) >

- トレーシングメモリーデータ
- プリセットメモリー再生時の移動速度 (PRESET SPEED)
- リモートカメラの選択状態
- カメラグループの選択状態
- ENABLE ボタンの点灯状態

< INITIALIZE されるデータ (ALL) >

- ユーザー認証の設定 (ユーザー名、パスワード)

< INITIALIZE される設定項目 >

○：対象 ー：対象外

ボタン番号	メニュー名称	設定項目	INITIALIZE	
			ALL	SETUP
[24]	CAMERA SETUP	1. CAM POWER	○	○
		2. AUTO ON	○	○
		3. RECALL PST SPD	○	○
		4. TALLY OUT	○	○
[25]	RP SETUP	1. FOCUS/IRIS	○	○
		2. P/T CURV	○	○
		3. LCD BACKLIGHT	○	○
		4. ENABLE BUTTON	○	○
		5. MENU CONTROL	○	○
		6. GLOBAL AREA	○	○
		7. IP ADDRESS	○	ー
		8. SUBNETMASK	○	ー
		9. GATEWAY	○	ー
		11. PORT CAM1 ~ 20. PORT CAM10	○	ー
		[26]	PAN DIRECTION	1. CAM1 ~ 100. CAM100
[27]	TILT DIRECTION	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	○
[28]	ZOOM DIRECTION	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	○
[29]	FOCUS DIRECTION	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	○
[31]	PM GRP1	1. PM GRP1 MODE	○	○
		2. PM GRP1 1/10 ~ 11. PM GRP1 10/10	○	○
		12. PM GRP1 ALL	○	○
[32]	PM GRP2	1. PM GRP2 MODE	○	○
		2. PM GRP2 1/10 ~ 11. PM GRP2 10/10	○	○
		12. PM GRP2 ALL	○	○
[33]	PM GRP3	1. PM GRP3 MODE	○	○
		2. PM GRP3 1/10 ~ 11. PM GRP3 10/10	○	○
		12. PM GRP3 ALL	○	○
[34]	PM GRP4	1. PM GRP4 MODE	○	○
		2. PM GRP4 1/10 ~ 11. PM GRP4 10/10	○	○
		12. PM GRP4 ALL	○	○
[35]	USER BUTTON	1. USER1 ~ 8. USER8	○	○
[36]	CTRL TYPE	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	ー
[38]	SWAP IP	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	ー
[39]	MANUAL IP	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	ー
[40]	PORT NO	1. CAM1 ~ 100. CAM100	○	ー
[41]	SW SETUP	1. SW CTL	○	ー
		2. SW IP ADDRESS	○	ー
[42]	SW FUNCTION	1. SWLINK ~ 18. CAMINF_ALARM	○	○
[43]	SW INPUT	1. INPUT1 ~ 100. INPUT100	○	ー
[44]	TALLY	1. TALLY IN1 ~ 10. TALLY IN10	○	○
[45]	GPI OUT	1. CAM OUT1 ~ 10. CAM OUT10	○	○

- 工場出荷状態の設定値については、「設定項目一覧 (メニュー)」 (53 ~ 55 ページ) を参照してください。

本機を出荷状態に戻す

1. MENU ボタンを押す
2. SYSTEMメニュー [49] を開く
3. F1ダイヤルを回して、「1. INITIALIZE」項目を表示する

1. INITIALIZE
ALL↓

4. F2ダイヤルを回して「ALL」 / 「SETUP」を選択し、F2ダイヤルを押して確定する

INITIALIZEが実行されます。

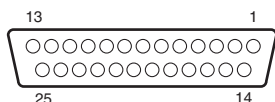
ALL : すべての設定を出荷状態に戻す (INITIALIZE する)

SETUP : 一部の設定のみを出荷状態に戻す (INITIALIZE する)

NOTE

- 「ALL」を選択してINITIALIZEを実行した後は、本機の再起動が必要です。電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

■ TALLY/GPI (JST 製 : JBY-25S-1A3F(LF)(SN))



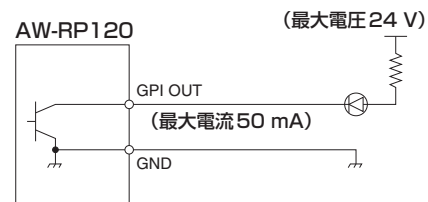
ピン番号	信号名	信号内容	動作
1	TALLY IN 1	タリー入力 TALLY IN1 ~ TALLY IN10 ⇒「タリーの設定」(39ページ)	接点入力 (ステータス動作)
14	TALLY IN 2		
2	TALLY IN 3		
15	TALLY IN 4		
3	TALLY IN 5		
16	TALLY IN 6		
4	TALLY IN 7		
17	TALLY IN 8		
5	TALLY IN 9		
18	TALLY IN 10		
6	GND	GND	
19	GPI IN 1	PMEM GROUP1 ~ PMEM GROUP4の呼び出し ⇒「プリセットメモリーグループの再生」(17ページ)	接点入力 (トリガー動作) ● トリガー幅 ≥ 30 ms
7	GPI IN 2		
20	GPI IN 3		
8	GPI IN 4		
21	GPI IN 5	ENABLE BUTTON設定を制御 ⇒「メニュー操作による ENABLE ボタン操作の有効/ 無効」(28ページ)	
9	GPI IN 6	MENU CONTROL設定を制御 ⇒「メニュー操作の有効/無効」(28ページ)	
22	GND	GND	
10	GPI OUT 1	リモートカメラ選択0*	オープンコレクター 出力 (ステータス動作)
23	GPI OUT 2	リモートカメラ選択1*	
11	GPI OUT 3	リモートカメラ選択2*	
24	GPI OUT 4	リモートカメラ選択3*	
12	GPI OUT 5	アラーム	
25	GND	GND	
13	NC		

GPI OUTの接続例

次の条件を守ってください。

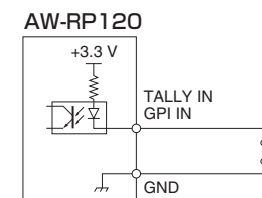
耐圧：最大 DC 24 V

電流：最大 50 mA



TALLY IN, GPI INの接続例

接点入力を行ってください。



* : GPI OUTメニュー [45]で、「1. CAM OUT1」～「10. CAM OUT10」項目に登録したカメラについて、GPI OUT1～GPI OUT4に本機での選択状況を出力することができます。

< CAM OUTに登録したカメラ番号が選択されたときのGPI OUT1～GPI OUT4の出力状態>

	GPI OUT1～GPI OUT4の出力			
	GPI OUT1	GPI OUT2	GPI OUT3	GPI OUT4
CAM OUT1	On	Off	Off	Off
CAM OUT2	Off	On	Off	Off
CAM OUT3	On	On	Off	Off
CAM OUT4	Off	Off	On	Off
CAM OUT5	On	Off	On	Off
CAM OUT6	Off	On	On	Off
CAM OUT7	On	On	On	Off
CAM OUT8	Off	Off	Off	On
CAM OUT9	On	Off	Off	On
CAM OUT10	Off	On	Off	On

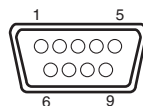
CAM OUT1 ~ CAM OUT10にカメラ番号を登録する

1. MENU ボタンを押す
2. GPI OUT メニュー [45] を開く
3. F1 ダイヤルを回して、「1. CAM OUT1」項目を表示する

1. CAM OUT1
CAM1↓
4. F2 ダイヤルを回してCAM OUT1 に設定するカメラ番号を選択し、F2 ダイヤルを押して確定する
カメラ番号 : CAM1 ~ CAM100から選択します。
5. F1 ダイヤルを回して、「2. CAM OUT2」 ~ 「10. CAM OUT10」項目を表示し、カメラ番号を登録する
 - 手順3 ~ 4を繰り返します。

■ REMOTE
(JST 製 : JEY-9P-1A3F(LF) (SN))

パーソナルコンピュータなど外部機器を接続し、カメラグループの選択、リモートカメラの選択、プリセットメモリーやトレーシングメモリーの再生を行うことができます。
詳しい情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	信号名
1	---
2	RXD IN
3	TXD OUT
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	---

■ TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5 端子 (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブル (カテゴリー 5以上のシールドケーブル) で接続してください。

ピン番号	信号名	信号内容
1	GND	フレームグラウンド
2	TALLY	タリー出力 (オープンコレクター)
3	TXD-	送信データ (-)
4	RXD-	受信データ (-)
5	RXD+	受信データ (+)
6	TXD+	送信データ (+)
7	NC	未使用
8	NC	未使用

- TALLY (ピン番号 : 2) の仕様
耐圧 : 最大 DC 24 V
電流 : 最大 50 mA

■ LAN 端子 (RJ-45)

IP 接続対応のリモートカメラ、スイッチャー、およびコンピュータをLANケーブルで接続します。
本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリー 5以上のシールドケーブル) を使用してください。
ハブ (スイッチングハブ) 等を経由して接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリー 5以上のシールドケーブル) を使用してください。

セットアップソフトウェア

セットアップソフトウェア (Setup Software) は、本機とリモートカメラやスイッチャーとの接続設定をパーソナルコンピュータから行うためのソフトウェアです。各項目を一覧で確認しながら、設定を行うことができます。

- リモートカメラやスイッチャーとの接続設定は、本機だけでも行うことができます。本機で設定する方法については、<基本編>「リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う」(29ページ)を参照してください。

NOTE

Setup Software を使ってパーソナルコンピュータで設定を行っているときは、下記内容に注意してください。

- 本機側での操作を行わないでください。
- 同一ネットワーク上の他のコンピュータで、Setup Software を起動させないでください。
- AW-HE120、AW-HE60、AW-HE50に付属されている「IP 簡単設定ソフトウェア」を使用しないでください。

ソフトウェアをインストールする

Setup Software のインストール方法について説明します。

1. 本機に付属している CD-ROM を、インストールするパーソナルコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
2. CD-ROM に収められている「Setup Software」をフォルダーごとパーソナルコンピュータのハードディスクにコピーします。
3. コピーした「Setup Software」フォルダー内の「RP120Tool.exe」をダブルクリックして Setup Software を起動させます。

パーソナルコンピュータの設定を行う

本機と接続する前に、パーソナルコンピュータに対して以下の設定を行ってください。

- IPアドレス** : 本機や、同じサブネット内に接続されている機器 (リモートカメラ、スイッチャーなど) に設定されている IP アドレスと重複しないように設定してください。
- サブネットマスク** : 本機に設定されているサブネットマスクと同一のものを設定してください。
- デフォルトゲートウェイ** : 本機に設定されているデフォルトゲートウェイと同一のものを設定してください。

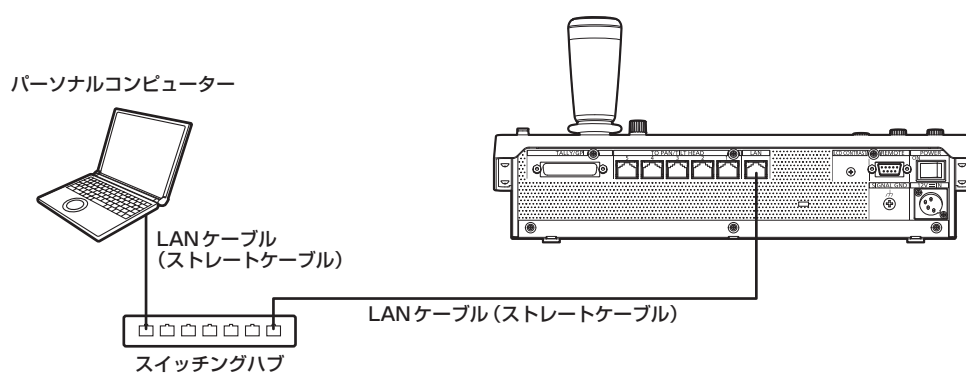
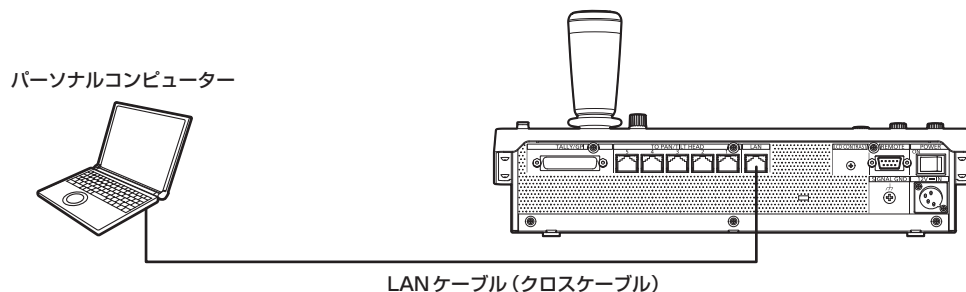
本機に設定されている IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、RP SETUP メニュー [25] を確認してください。

- IPアドレス** : 「7. IP ADDRESS」項目
- サブネットマスク** : 「8. SUBNETMASK」項目
- デフォルトゲートウェイ** : 「9. GATEWAY」項目

パーソナルコンピューターを接続する

LANケーブルにより、パーソナルコンピューターと本機を接続します。

- 本機とパーソナルコンピューターを直接接続する場合は、クロスケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。
- スイッチングハブを経由して接続する場合は、ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。

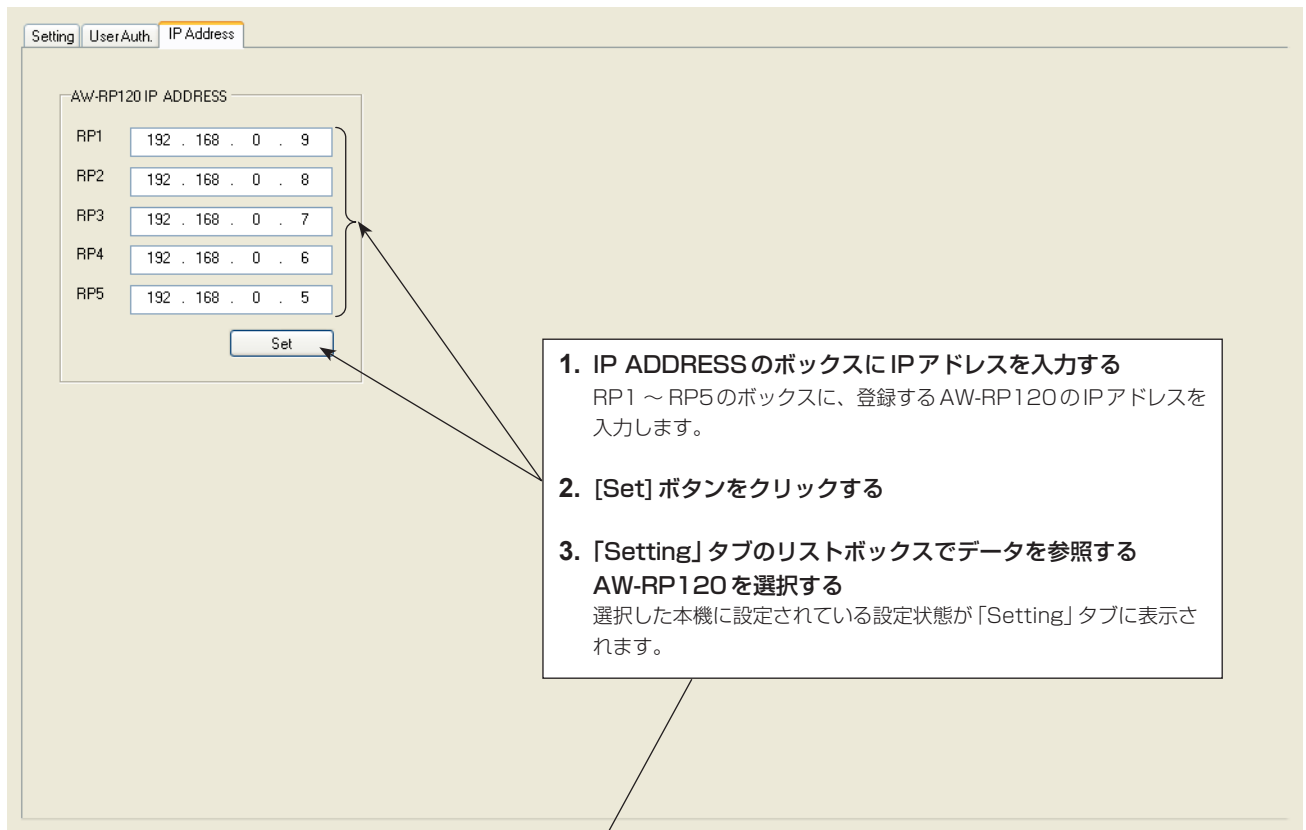


セットアップソフトウェア(つづき)

本書では、Windows XPの画面をもとに説明しています。
Windows XP以外のOSをお使いの場合、画面上の表示が一部異なる場合があります。

Setup Software へ本機を登録する

「IP Address」タブでは、Setup Software から設定を行う本機のIPアドレスを登録します。
ここで登録した本機は、「Setting」タブのリストボックスから選択することができます。
最大5台の本機を登録することができます。



Setting User Auth. IP Address

AW-RP120 IP ADDRESS

RP1 192 . 168 . 0 . 9

RP2 192 . 168 . 0 . 8

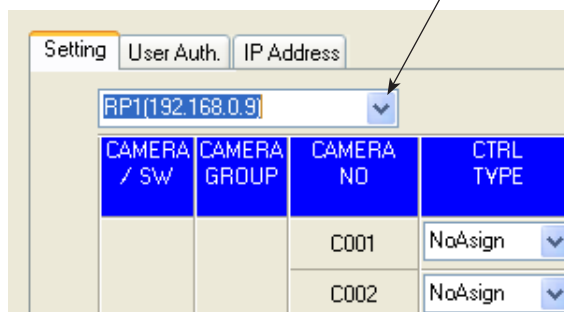
RP3 192 . 168 . 0 . 7

RP4 192 . 168 . 0 . 6

RP5 192 . 168 . 0 . 5

Set

1. IP ADDRESS のボックスに IP アドレスを入力する
RP1 ~ RP5 のボックスに、登録する AW-RP120 の IP アドレスを入力します。
2. [Set] ボタンをクリックする
3. 「Setting」タブのリストボックスでデータを参照する
AW-RP120 を選択する
選択した本機に設定されている設定状態が「Setting」タブに表示されます。



Setting User Auth. IP Address

RP1(192.168.0.9)

CAMERA / SW	CAMERA GROUP	CAMERA NO	CTRL TYPE
		C001	NoAsign
		C002	NoAsign

リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う

「Setting」タブの表示

「Setting」タブで、本機とリモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行います。

本機にパーソナルコンピュータを初めて接続したときは、まず [REFRESH] ボタンを押し、本機に設定されている値を取得してください。

「C001」～「C100」、「SW」の各行に、各カメラ番号、スイッチャーとの接続設定情報が一覧で表示されます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
CAMERA /SW	CAMERA GROUP	CAMERA NO	CTRL TYPE	CAMERA NAME	SW INPUT	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	CAMERA PORT NO	SWAP CAMERA	RECEIVE PORT NO	ALARM
		C001	Network		INPUT1	00:00:00:00:00:00	192.168.0.10	80		61000	
		C002	Network	AW-HE120	INPUT2	00:00:00:00:00:00	192.168.0.11	80		61001	
		C003	Network		INPUT3	00:00:00:00:00:00	192.168.0.12	80		61002	

1 設定対象選択リストボックス

接続設定を行う本機を選択します。

▼をクリックすると、本ソフトウェアから設定を行うことができる本機のIPアドレスが表示されます。この中から、設定を行いたい本機のIPアドレスを選択します。

「IP Address」タブで登録した本機が選択対象となります。

⇒「Setup Softwareへ本機を登録する」(47ページ)

2 CAMERA/SW

接続する機器の種別を表示します。

CAMERA : リモートカメラ

SW : スイッチャー

3 CAMERA GROUP

カメラグループ番号を表示します。

4 CAMERA NO

カメラ番号を表示します。

5 CTRL TYPE

接続種別を選択します。

右側の▼をクリックして、「Serial」、「Network」、「NoAssign」から、接続種別を選択します。

Serial : シリアル接続

Network : IP接続

NoAssign : 設定なし(初期設定)

「Serial」は、GROUP1でのみ選択できます。

変更後は、[SET] ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

NOTE

- RP SETUPメニュー [25]の「6. GLOBAL AREA」を「On」に設定しているときは、「Serial」を選択して[SET] ボタンをクリックすると、該当する項目の表示は「Serial」になりますが、本機に設定は反映されません。[REFRESH] ボタンをクリックし、本機に設定されている値を取得して、表示を一致させてください。

6 CAMERA NAME

リモートカメラ側で設定されているカメラの名称を表示します。

現在選択されているグループのリモートカメラが対象になります。

シリアル接続しているリモートカメラは、本機で選択しているときのみ表示されます。

7 SW INPUT

本機のカメラ番号に対応するスイッチャーの映像入力を設定します。

右側の▼をクリックして、「NoAssign」、「INPUT1」～「INPUT100」を選択します。

変更後は、[SET] ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

8 MAC ADDRESS

本機のカメラ番号とリンク設定されているリモートカメラ、スイッチャーのMACアドレスを表示します。

- 自動IP設定によりリンク設定されたカメラ番号、スイッチャーが表示対象になります。

9 IP ADDRESS

接続先とするリモートカメラ、スイッチャーのIPアドレスを設定します。

入力した後、[SET] ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

10 CAMERA PORT NO

接続先とするリモートカメラのポート番号を設定します。

入力した後、[SET] ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

設定可能な範囲 : 1 ~ 65535

ただし、この範囲の値であっても、以下の値を設定することはできません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、10669、10670

11 SWAP CAMERA

2つのカメラ番号間で、接続先として設定されているリモートカメラを入れ替えます。

▼をクリックすると、カメラ番号「C001」～「C100」が表示されます。

この中から、入れ替えを行いたいカメラ番号を選択します。

変更後は、[SET] ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

Setting User Auth. IP Address

RP1(192.168.0.9)

CAMERA /SW	CAMERA GROUP	CAMERA NO	CTRL TYPE	CAMERA NAME	SW INPUT	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	CAMERA PORT NO	SWAP CAMERA	12 RECEIVE PORT NO	13 ALARM
CAMERA	1	C001	Network		INPUT1	00:00:00:00:00:00	192.168.0.10	80		61000	
		C002	Network	AW-HE120	INPUT2	00:00:00:00:00:00	192.168.0.11	80		61001	
		C003	Network		INPUT3	00:00:00:00:00:00	192.168.0.12	80		61002	
		C004	Serial		INPUT4	00:00:00:00:00:00	192.168.0.13	80		61003	
		C005	Serial	AW-HE100	INPUT5	00:00:00:00:00:00	192.168.0.14	80		61004	
		C006	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.15	80		61005	
		C007	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.16	80		61006	
		C008	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.17	80		61007	
		C009	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.18	80		61008	
		C010	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.19	80		61009	
	C011	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.20	80		61000		
	C012	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.21	80		61001		
	C013	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.22	80		61002		
	C014	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.23	80		61003		
	C015	NoAssign		NoAssign	00:00:00:00:00:00	192.168.0.24	80		61004		
Sw			Network			00:00:00:00:00:00	192.168.0.8				

14 RENEW 15 KEEP 16 REFRESH 17 ALL CLEAR 18 SET 19 CANCEL

12 RECEIVE PORT NO

本機が、リモートカメラからカメラ情報の更新通知を受信するためのポート番号を設定します。

設定可能な範囲：61000～65535

- 更新通知は、選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラから受信しますので、10個のポート番号を設定します。「C001」～「C010」の行に入力した後、[SET] ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

13 ALARM

リモートカメラのアラーム情報を表示します。

本機で選択中のカメラグループに属するリモートカメラが対象になります。

シリアル接続しているリモートカメラは、本機で選択しているときのみ表示されます。

14 RENEW ボタン

本機 AUTO IP メニュー [37] の「RENEW IP ADR」を実行します。[RENEW] ボタンをクリックすると、本機が新たに検出したリモートカメラとスイッチャーに対するリンク設定対象 (カメラ番号、スイッチャー) が黄色で表示されます。ここで、[SET] ボタンをクリックすると、設定が確定し、リモートカメラ、スイッチャーの IP アドレスが更新されます。

[CANCEL] ボタンをクリックすると、設定は反映されません。

15 KEEP ボタン

本機 AUTO IP メニュー [37] の「KEEP IP ADR」を実行します。[KEEP] ボタンをクリックすると、本機が新たに検出したリモートカメラとスイッチャーに対するリンク設定対象 (カメラ番号、スイッチャー) が黄色で表示されます。ここで、[SET] ボタンをクリックすると、設定が確定し、本機の接続先 IP アドレスが更新されます。[CANCEL] ボタンをクリックすると、設定は反映されません。

16 REFRESH ボタン

本機に設定されている接続情報をパーソナルコンピューターに取り込み、「Setting」タブの表示を更新します。

17 ALL CLEAR ボタン

本機 AUTO IP メニュー [37] の「ALL CLEAR」を実行します。[ALL CLEAR] ボタンをクリックすると、本機に設定されている接続種別、接続先 IP アドレスが初期化されます。

- 接続種別が「Network」から「NoAssign」に設定されます。「Serial」に設定されている場合は、変更されません。

18 SET ボタン

「Setting」タブで行った変更内容を確定し、本機の設定値を更新します。

19 CANCEL ボタン

「Setting」タブで行った変更内容をキャンセルします。

ユーザー認証の設定を行う

ユーザー認証機能が有効になっているリモートカメラを制御するためには、ユーザー名とパスワードを本機に設定する必要があります。この設定は、本ソフトウェアの「User Auth.」タブで行います。

- ユーザー認証機能は、IP 接続したリモートカメラを制御するときのみ有効です。リモートカメラの取扱説明書も併せて参照してください。

Setting User Auth. IP Address

Old User Name

New User Name:

Old Password

New Password:

Retype New Password:

REFRESH SET

1. [REFRESH] ボタンをクリックする

本機に設定されているユーザー名が「Old User Name」ボックスに表示されます。

- 工場出荷時は、「admin」が設定されています。

2. 「New User Name」ボックスに、新たに設定するユーザー名を入力する

3. 「Old Password」ボックスに、本機に設定されているパスワードを入力する

入力された文字は「*」で表示されます。

- 工場出荷時は、「12345」が設定されています。

4. 「New Password」ボックスに、新たに設定するパスワードを入力する

入力された文字は「*」で表示されます。

5. 「Retype New Password」ボックスに、手順4で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

入力された文字は「*」で表示されます。

6. [SET] ボタンをクリックする

本機に、ユーザー名とパスワードが設定されます。

ユーザー認証機能が有効になっているリモートカメラを制御するときは、ここで設定したユーザー名とパスワードが用いられます。

メモ

- 上記操作を行って新たに設定したパスワードをお忘れになった場合でも、「Old User Name」ボックスに「admin」、「Old Password」ボックスに「12345」を入力し、その他のボックスに新たなユーザー名とパスワードを入力することで、再度設定を行うことができます。

AW-HE2の操作

本機からHDインテグレートドカメラAW-HE2を操作することができます。

本章では、他のリモートカメラを操作した場合と差異がある箇所について説明します。

NOTE

- AW-HE2と本機との接続方法は、AW-HE2とAW-RP50との接続方法と同じです。AW-HE2の取扱説明書を参照してください。

<無効となる操作>

カラーアジャスト部	R/B GAINダイヤル、R/B PEDダイヤル、PEDダイヤル、GAINボタン、DETAILボタン、AUTO GAINボタン、ABBボタン
フォーカス、ズーム、アイリス部	FOCUSダイヤル、オートフォーカスボタン、ワンタッチオートフォーカスボタン、FOCUS SPEEDダイヤル
ユーザーボタン部	SCENE 1～SCENE 4ボタン(*)

- (*) SHIFTボタンが点灯している状態でこれらのボタンを押しても操作は無効となります。
(撮影モードの選択はできません)

<差異のある表示>

IRISインジケーター	オートアイリス中は表示が更新されません。
ZOOMインジケーター FOCUSインジケーター	すべてのランプが消灯します。

<差異のある操作>

PAN/TILTレバー	ズーム位置がWIDE端側にあるときは、操作しても出力映像は変わりません。
プリセットメモリー	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録、再生可能なプリセット番号は、PMEM 1～PMEM 9 (ページ番号Page1) です。 ● PRESET SCOPE、PRESET SPEEDを設定することができません。
トレーシングメモリー	TMEM10にはスタート位置を記憶することはできません。
SDカード	CAM項目のSAVE、LOADを実行することはできません。
USERボタン	<p>以下の設定値を割り当てると、USERボタンによりAW-HE2のPinP表示を操作することができます。</p> <p>CAM_PINP DISP : PinPの表示/非表示を切り替えます。 ボタンを押すごとに、PinPの表示→非表示→表示…と切り替わります。</p> <p>CAM_PINP CTL : PAN/TILTレバーとZOOMボタンの制御対象(コントロールモード)を切り替えます。 ボタンを押すごとに、PinP→メイン画面→PinP…と切り替わります。</p> <p>CAM_PINP POS : PinPの表示位置を切り替えます。 ボタンを押すごとに、右上→右下→左下→左上→右上…と切り替わります。</p>

- AW-HE2のPinP表示機能については、AW-HE2の取扱説明書を参照してください。

<無効となるメニュー操作>

メニュー	設定項目
SHUTTER [21]	1. SHUTTER
	2. SPEED
ND FILTER [22]	1. ND FILTER
PTZ ADJUST [30]	2. SPEED WITH Z
	3. LIMIT UP
	4. LIMIT DOWN
	5. LIMIT LEFT
	6. LIMIT RIGHT

設定項目一覧(専用ダイヤル、ボタン)

ダイヤル、ボタン	設定項目	リモートカメラ	設定値 ^(*1)
R/B GAIN ダイヤル	R GAIN B GAIN	AW-HE120	-150 ~ +150
		AW-HE50 ^(*2) , AW-HE60	-30 ~ +30
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100	-30 ~ +30
		AW-HE870	-150 ~ +150
		AW-E860, AW-E750, AW-E650, AW-E350	-150 ~ +150
		AK-HC1500, AK-HC1800	-150 ~ +150
R/B PED ダイヤル	R PED B PED	AW-HE120	-150 ~ +150
		AW-HE50, AW-HE60	"---"
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100	"---"
		AW-HE870	-150 ~ +150
		AW-E860, AW-E750, AW-E650, AW-E350	-150 ~ +150
		AK-HC1500, AK-HC1800	-100 ~ +100
PED ダイヤル	PED	AW-HE120	-150 ~ +150
		AW-HE50, AW-HE60	-10 ~ +10
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100	-30 ~ +30
		AW-HE870	-150 ~ +150
		AW-E860, AW-E750, AW-E650, AW-E350	-150 ~ +150
		AK-HC1500, AK-HC1800	-150 ~ +150
GAIN ボタン	GAIN	AW-HE120	Auto, 0dB ~ 18dB (1step)
		AW-HE50, AW-HE60	Auto, 0dB, 3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100	Auto, 0dB ~ 12dB (1step), 15dB, 18dB
		AW-HE870	Auto, -6dB ~ 18dB (1step)
		AW-E860, AW-E750, AW-E650	Auto, 0dB ~ 30dB, N/Eye L, N/Eye, N/Eye H
		AW-E350	Auto, 0dB ~ 30dB, N/Eye
DETAIL ボタン	DETAIL	AW-HE2	"---"
		AW-HE2以外	Off, On
	LEVEL	AW-HE120	Low, High
		AW-HE50, AW-HE60	Low, High
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100	0 ~ 14
		AW-HE870	Low, High
		AW-E860, AW-E750, AW-E650, AW-E350	Low, High
AK-HC1500, AK-HC1800	"---"		

(*1) "---"と記載した箇所は、設定値を変更することはできません。

(*2) アップグレードキットAW-HEF5HG/AW-HEF5SGを導入していないAW-HE50は、R GAIN、B GAINを操作することができません。

ダイヤル、ボタン	設定項目	リモートカメラ	設定値 ^(*1)
MEM SETTING ボタン	SPEED	AW-HE120, AW-HE50, AW-HE60	1 ~ 30 ^(*3)
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100, AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	1 ~ 30 ^(*3)
	SCOPE	AW-HE120, AW-HE50, AW-HE60	MODE A, MODE B, MODE C
		AW-HE2	"---"
		AW-HE100, AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	"---"

(*3) TMEMモードでは "---"と表示され、設定することができません。

設定項目一覧 (メニュー)

ボタン番号	メニュー名称	設定項目	リモートカメラ	本機の初期値 (*1)	設定値 (*2)		
[21]	SHUTTER	1. SHUTTER	AW-HE120	—	Off, Step, Synchro, ELC		
			AW-HE50, AW-HE60	—	Off, Step, Synchro		
			AW-HE2	—	“—”		
			AW-HE100	—	Off, Step, Synchro		
			AW-HE870	—	Off, Step, Synchro, ELC		
			AW-E860, AW-E750, AW-E650, AW-E350	—	Off, Step, Synchro, ELC		
			AK-HC1500, AK-HC1800	—	Off, Step, Synchro		
		2. SPEED	AW-HE120	—	59.94Hz: 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 50Hz: 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000		
			AW-HE50, AW-HE60	—	1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000		
			AW-HE2	—	“—”		
			AW-HE100	—	1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000		
			AW-HE870	—	1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000		
			AW-E860, AW-E750, AW-E650, AW-E350	—	1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000		
			AK-HC1500, AK-HC1800	—	VIDEO: 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 FILM: 180.0, 172.8, 144.0, 120.0, 90.0, 45.0		
[22]	ND FILTER	1. ND FILTER	—	ND1, ND2, ND3, ND4			
[23]	FUNCTION	1. OPTION	—	Off, On			
		2. DEFROSTER	—	Off, On			
		3. WIPER	—	Off, On			
		4. HEATER/FAN	—	Off, On			
		5. LAMP	—	Off, On			
[24]	CAMERA SETUP	1. CAM POWER		GROUP ON	GROUP OFF, GROUP ON, ALL OFF, ALL ON		
		2. AUTO ON		On	On, Off		
		3. RECALL PST SPD		Off	On, Off		
		4. TALLY OUT		Off	On, Off		
		5. HOME POSITION		SET	SET		
[25]	RP SETUP	1. FOCUS/IRIS		STANDARD	STANDARD, EXCHANGE		
		2. P/T CURV		1	1 ~ 5		
		3. LCD BACKLIGHT		On	On, Off, 60, 120, 180		
		4. ENABLE BUTTON		ACTIVE	ACTIVE, LOCK		
		5. MENU CONTROL		ACTIVE	ACTIVE, LOCK		
		6. GLOBAL AREA		Off	On, Off		
		7. IP ADDRESS		192.168.0.9			
		8. SUBNETMASK		255.255.255.0			
		9. GATEWAY		192.168.0.1			
		10. MAC ADDRESS			表示のみ		
		11. PORT CAM1 ∴ 20. PORT CAM10		61000 ∴ 61009	61000 ~ 65535 ∴ 61000 ~ 65535		
[26]	PAN DIRECTION	1. CAM1 ∴ 100. CAM100		NORMAL ∴ NORMAL	NORMAL, REVERSE ∴ NORMAL, REVERSE		
		[27]	TILT DIRECTION	1. CAM1 ∴ 100. CAM100		NORMAL ∴ NORMAL	NORMAL, REVERSE ∴ NORMAL, REVERSE
				[28]	ZOOM DIRECTION	1. CAM1 ∴ 100. CAM100	
[29]	FOCUS DIRECTION	1. CAM1 ∴ 100. CAM100				NORMAL ∴ NORMAL	NORMAL, REVERSE ∴ NORMAL, REVERSE

(*1) 「—」と記載した箇所は、リモートカメラに保存されている設定値です。
斜線を記載した箇所は表示のみで変更することはできません。

(*2) “—”と記載した箇所は、設定値を変更することはできません。

設定項目一覧(メニュー) (つづき)

ボタン番号	メニュー名称	設定項目	リモートカメラ	本機の初期値(*1)	設定値(*2)
[30]	PTZ ADJUST	1. Z MIN SPEED		Off	Off, 1 ~ 8
		2. SPEED WITH Z	AW-HE120	-	Off, On
			AW-HE50, AW-HE60	-	Off, On
			AW-HE2	-	“---”
			AW-HE100	-	Off, 1, 2
			AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	-	Off, 1, 2
		3. LIMIT UP	AW-HE120	-	Off, On
			AW-HE50, AW-HE60	-	Off, On
			AW-HE2	-	“---”
			AW-HE100	-	EXEC
			AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	-	EXEC
		4. LIMIT DOWN	AW-HE120	-	Off, On
			AW-HE50, AW-HE60	-	Off, On
			AW-HE2	-	“---”
			AW-HE100	-	EXEC
			AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	-	EXEC
		5. LIMIT LEFT	AW-HE120	-	Off, On
			AW-HE50, AW-HE60	-	Off, On
			AW-HE2	-	“---”
			AW-HE100	-	EXEC
			AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	-	EXEC
		6. LIMIT RIGHT	AW-HE120	-	Off, On
			AW-HE50, AW-HE60	-	Off, On
			AW-HE2	-	“---”
	AW-HE100	-	EXEC		
	AW-PH360, AW-PH400, AW-PH405, AW-PH650	-	EXEC		
[31]	PM GRP1	1. PM GRP1 MODE		Off	Off, SEPARATE, ALL
		2. PM GRP1 1/10		NoAsgn -----	NoAsgn -----,
		3. PM GRP1 2/10		NoAsgn -----	CAM001 PRE001 ~ CAM100 PRE100
		∴		∴	
		11. PM GRP1 10/10		NoAsgn -----	
		12. PM GRP1 ALL		NoAsgn	NoAsgn, PRE001 ~ PRE100
[32]	PM GRP2	1. PM GRP2 MODE		Off	Off, SEPARATE, ALL
		2. PM GRP2 1/10		NoAsgn -----	NoAsgn -----,
		3. PM GRP2 2/10		NoAsgn -----	CAM001 PRE001 ~ CAM100 PRE100
		∴		∴	
		11. PM GRP2 10/10		NoAsgn -----	
		12. PM GRP2 ALL		NoAsgn	NoAsgn, PRE001 ~ PRE100
[33]	PM GRP3	1. PM GRP3 MODE		Off	Off, SEPARATE, ALL
		2. PM GRP3 1/10		NoAsgn -----	NoAsgn -----,
		3. PM GRP3 2/10		NoAsgn -----	CAM001 PRE001 ~ CAM100 PRE100
		∴		∴	
		11. PM GRP3 10/10		NoAsgn -----	
		12. PM GRP3 ALL		NoAsgn	NoAsgn, PRE001 ~ PRE100
[34]	PM GRP4	1. PM GRP4 MODE		Off	Off, SEPARATE, ALL
		2. PM GRP4 1/10		NoAsgn -----	NoAsgn -----,
		3. PM GRP4 2/10		NoAsgn -----	CAM001 PRE001 ~ CAM100 PRE100
		∴		∴	
		11. PM GRP4 10/10		NoAsgn -----	
		12. PM GRP4 ALL		NoAsgn	NoAsgn, PRE001 ~ PRE100
[35]	USER BUTTON	1. USER1		ND1	ND1 ~ 4, SWLINK, BUSCONT, FASSIST, CAMSEL, CAMINF, TALLY_IP, POWER OFF, CAM_PINP DISP, CAM_PINP CTL, CAM_PINP POS
		2. USER2		ND2	
		3. USER3		ND3	
		4. USER4		ND4	
		5. USER5		SWLINK	
		6. USER6		BUSCONT	
		7. USER7		FASSIST	
		8. USER8		CAMSEL	

(*1) 「-」と記載した箇所は、リモートカメラに保存されている設定値です。

(*2) “---”と記載した箇所は、設定値を変更することはできません。

設定項目一覧(メニュー) (つづき)

ボタン番号	メニュー名称	設定項目	リモートカメラ	本機の初期値 ^(*1)	設定値
[36]	CTRL TYPE	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		NoAssign ⋮ NoAssign	Serial, Network, NoAssign
[37]	AUTO IP	1. AUTO SET		RENEW IP ADR	RENEW IP ADR, KEEP IP ADR, ALL CLEAR
[38]	SWAP IP	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		----- ⋮ -----	
[39]	MANUAL IP	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		192.168.0.10 ⋮ 192.168.0.109	
[40]	PORT NO	1. CAM1 ⋮ 100. CAM100		80 ⋮ 80	1 ~ 65535 ⋮ 1 ~ 65535
[41]	SW SETUP	1. SW CTL 2. SW IP ADDRESS		NoAssign 192.168.000.008	Network, NoAssign
[42]	SW FUNCTION	1. SWLINK 2. SW TYPE 3. BUSCONT 4. BUS 5. FOCUS ASSIST 6. MV OUTBUS 7. CAMERA SELECT 8. TALLY_IP 9. P/T/Z CONTROL 10. CAM INF 11. CAMINF_FORMAT 12. CAMINF_CNAME 13. CAMINF_SCENE 14. CAMINF_GAIN 15. CAMINF_SHUTER 16. CAMINF_IRIS 17. CAMINF_FILTER 18. CAMINF_ALARM		On HS50 Off AUX Off AUX1 Off Off CAM On On On On On On On On On On	Off, On HS50, HS6000 Off, On 2. SW TYPE が HS50 のとき: AUX、PVW、PinP、KEY 2. SW TYPE が HS6000 のとき: AUX1-16、ME1PVW、ME1KEY1-S/F、ME1KEY2-S/F、ME1KEY3-S/F、ME1KEY4-S/F、ME2PVW、ME2KEY1-S/F、ME2KEY2-S/F、ME2KEY3-S/F、ME2KEY4-S/F、DSK1-S/F、DSK2-S/F、DSK3-S/F、DSK4-S/F Off, On AUX1 ~ 16 Off, On Off, On CAM, SW, Button Select Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On Off, On
[43]	SW INPUT	1. INPUT1 2. INPUT2 3. INPUT3 4. INPUT4 5. INPUT5 6. INPUT6 ⋮ 100. INPUT100		CAM1 CAM2 CAM3 CAM4 CAM5 NoAssign ⋮ NoAssign	NoAssign, CAM1 ~ CAM100
[44]	TALLY	1. TALLY IN1 ⋮ 10. TALLY IN10		CAM1 ⋮ CAM10	CAM1 ~ CAM100
[45]	GPI OUT	1. CAM OUT1 ⋮ 10. CAM OUT10		CAM1 ⋮ CAM10	CAM1 ~ CAM100
[46]	SD SAVE	SAVE MODE		RPDAT	RPDAT, CAM, RPMEM, LOG ^(*2)
[47]	SD LOAD	LOAD MODE		RPDAT	RPDAT, CAM, RPMEM, UPG ^(*2)
[48]	SD DELETE	DEL MODE		RPDAT	RPDAT, CAM, RPMEM, LOG, INIT
[49]	SYSTEM	1. INITIALIZE 2. SYSTEM VER 3. PROGRAM VER 4. FPGA VER		ALL /	ALL, SETUP V*.*.* (表示のみ) V*.*.* (表示のみ) V*.*.* (表示のみ)
[50]	ALARM	1. POWER 2. CAM### ⋮ 11. CAM### ^(*3)		/	ALARM, No ALARM (表示のみ) FAN ALM, P/T ALM, FAN ALM+P/T ALM, No ALARM (表示のみ)

(*1) 「-」と記載した箇所は、リモートカメラに保存されている設定値です。

斜線を記載した箇所は表示のみで変更することはできません。

(*2) CTRL TYPE メニュー [36] で Serial、NoAssign が設定されているカメラ番号が選択されているときは、「CAM」、「RPMEM」は表示されません。

(*3) CAM### には、選択中のカメラグループに含まれるカメラ番号が表示されます。

メッセージ一覧

起動時、カメラグループ切り替え時

表示	説明
Don't touch PTZ Lever!	PAN/TILTレバー、ZOOMボタンを初期化中のため、操作しないでください。
Connecting to cameras	リモートカメラとの接続を開始しています。

操作のロック

表示	説明
LOCKED!	操作が無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> 該当エリアのENABLEボタンが消灯している状態で、操作をしたとき メニュー操作を無効に設定している状態で、メニューが割り付けられた数字ボタンを押したとき

IP接続設定

表示	説明
Unavailable network setting	入力したIPアドレス、サブネットマスク、ポート番号は設定できません。正しい値を設定してください。⇒<基本編>「本機のネットワーク設定を行う」(27ページ)
IP Duplicate!	入力したIPアドレスは、他の項目で設定しているIPアドレス(他のカメラ番号やスイッチャーに対する接続先IPアドレス、もしくは本機のIPアドレス)と重複しています。
Please reboot AW-RP120	本機の再起動が必要です。本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

リモートカメラとの接続種別の設定時

表示	説明
Setting CTRL TYPE	リモートカメラとの接続種別の設定を変更中です。

プリセットメモリー

表示	説明
CAM### PMEM STORE COMPLETE	プリセットメモリーの登録が完了しました。
CAM### PMEM DELETE COMPLETE	プリセットメモリーの削除が完了しました。
Used by TMEM.	選択した数字ボタンには、トレーシングメモリーが登録されているため、上書きや削除を実行することはできません。

- 「#」には数字が入ります。

トレーシングメモリー

表示	説明
CAM##: TMEM #m###s Remained.	CAM##のトレーシングメモリーには、あと#m###s記録できます。
TM##: Standby Store	トレーシングメモリーの記録スタンバイ状態です。
TM##: Waiting Opr.	トレーシングメモリーの記録操作待ち状態です。
TM##: #m###s Storing...	トレーシングメモリーの記録中です。
TM##: #m###s/#m###s Standby Recall	トレーシングメモリーの再生待ち状態です。
TM##: #m###s/#m###s Recalling...	トレーシングメモリーの再生中です。
TM##: #m###s/#m###s Standby Restore	トレーシングメモリーの修正スタンバイ状態です。
TM##: #m###s/#m###s Restoring...	トレーシングメモリーの修正中です。
Please wait FLASH Accessing.	トレーシングメモリーの記録、修正後、データを本機内部のフラッシュメモリーに書き込んでいます。
CAM GRP can't be changed in TMEM	TMEMモード中は、カメラグループを切り替えることはできません。
TMEM DELETE COMPLETE	トレーシングメモリーの削除が完了しました。

- 「#」には数字が入ります。

メモリーカード

表示	説明
NO CARD!	カードが挿入されていません。
INITIALIZING... NOT REMOVE CARD	イニシャライズ中です。
SAVING... NOT REMOVE CARD	メモリーカードへデータを保存しています。 メモリーカードを抜かないでください。
LOADING... NOT REMOVE CARD	メモリーカードからデータを読み込んでいます。 メモリーカードを抜かないでください。
COMPLETE	イニシャライズ/保存/読み込みが完了しました。
WRITE PROTECTED!	メモリーカードにライトプロテクトがかかっています。
OVER 99FILES!	ファイルがすでに99個あるため、保存できません。
INSUFFICIENT CAPACITY!	メモリーカードの空き容量が不足しているため、保存できません。
LOAD ERROR!	本機、もしくは選択中のリモートカメラに読み込めないファイル(下記)です。 ● 現在選択中のリモートカメラと異なる機種で保存したファイル ● データが破壊されたファイル

セットアップソフトウェア

表示	説明
Not connected.	本機とパーソナルコンピューターが接続されていません。
Already assigned.	選択したスイッチャーの映像入力は、他のカメラ番号ですでに選択されています。重複しないように選択してください。
IP(###.###.###.###) duplicate.	入力した接続先IPアドレス(###.###.###.###)は、本機のIPアドレス、もしくは他のカメラ番号やスイッチャーに対する接続先IPアドレスと重複しています。
Unavailable network setting.	入力したIPアドレス、ポート番号は設定できません。正しい値を設定してください。 ⇒<基本編>「本機のネットワーク設定を行う」(27ページ) ⇒<基本編>「リモートカメラ、スイッチャーとの接続設定を行う」(29ページ)
Please reboot AW-RP120.	本機の再起動が必要です。本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
Old User Name or Old Password is incorrect.	入力したユーザー名、もしくはパスワードが本機に設定されている値と一致しません。
Entered information is incorrect. Enter again.	入力内容に、本機で使用できない文字が含まれています。
Complete the "Old User Name" field.	「Old User Name」ボックスにユーザー名を入力してください。
Complete the "New User Name" field.	「New User Name」ボックスにユーザー名を入力してください。
Complete the "Old Password" field.	「Old Password」ボックスにパスワードを入力してください。
Complete the "New Password" field.	「New Password」ボックスにパスワードを入力してください。
Complete the "Retype New Password" field.	「Retype New Password」ボックスにパスワードを入力してください。
Password entered in the "Retype New Password" field is incorrect.	「Retype New Password」ボックスに入力したパスワードが、「New Password」に入力したパスワードに一致しません。

- [#]には数字が入ります。

メニュー

[21] SHUTTER	
1. SHUTTER	8
2. SPEED	8
[22] ND FILTER	10
[23] FUNCTION	
1. OPTION	26
2. DEFROSTER	26
3. WIPER	26
4. HEATER/FAN	26
5. LAMP	26
[24] CAMERA SETUP	
1. CAM POWER	3, 4
2. AUTO ON	3
3. RECALL PST SPD	15
4. TALLY OUT	39
5. HOME POSITION	25
[25] RP SETUP	
1. FOCUS/IRIS	29
2. P/T CURV	22
3. LCD BACKLIGHT	29
4. ENABLE BUTTON	28
5. MENU CONTROL	28
[26] PAN DIRECTION	23
[27] TILT DIRECTION	23
[28] ZOOM DIRECTION	23
[29] FOCUS DIRECTION	24
[30] PTZ ADJUST	
1. Z MIN SPEED	24
2. SPEED WITH Z	24
3. LIMIT UP	25
4. LIMIT DOWN	25
5. LIMIT LEFT	25
6. LIMIT RIGHT	25
[31] PM GRP1	
1. PM GRP1 MODE	16
2. PM GRP1 1/10	16
3. PM GRP1 2/10	16
11. PM GRP1 10/10	16
12. PM GRP1 ALL	17
[35] USER BUTTON	30
[42] SW FUNCTION	
1. SWLINK	31
2. SW TYPE	31
3. BUSCONT	32
4. BUS	32
5. FOCUS ASSIST	33
6. MV OUTBUS	33
7. CAMERA SELECT	33
8. TALLY_IP	34
9. P/T/Z CONTROL	34
10. CAM INF	35
11. CAMINF_FORMAT	35
12. CAMINF_CNAME	35
13. CAMINF_SCENE	35
14. CAMINF_GAIN	35
15. CAMINF_SHUTER	35
16. CANINF_IRIS	35
17. CAMINF_FILTER	35
18. CAMINF_ALARM	35
[43] SW INPUT	31
[44] TALLY	39

[45] GPI OUT	
1. CAM OUT1	44
[46] SD SAVE	37
[47] SD LOAD	38
[48] SD DELETE	37, 38
[49] SYSTEM	
1. INITIALIZE	42
[50] ALARM	40

A

ABB ボタン	7
ATW ボタン	7
AWB ボタン	6

B

BARS ボタン	8
B GAINダイヤル	7
B PEDダイヤル	7

C

CAMERA OSD ボタン	11
----------------------	----

D

DETAIL ボタン	8
------------------	---

F

FOCUS SPEEDダイヤル	22
FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン	27

G

GAIN ボタン	6
----------------	---

L

LAN端子	44
-------------	----

M

MEM ENABLE ボタン	12, 18, 27
----------------------	------------

P

PAN/TILT ENABLE ボタン	27
PAN/TILT SPEEDダイヤル	22
PEDダイヤル	6
PMEM ボタン	12
PM GRP 1 ボタン	17
PM GRP 2 ボタン	17
PM GRP 3 ボタン	17
PM GRP 4 ボタン	17

R

REMOTE	44
R GAINダイヤル	7
R PEDダイヤル	7

S

SCENE 1 ボタン	9
SCENE 2 ボタン	9
SCENE 3 ボタン	9
SCENE 4 ボタン	9
Setup Software	45
SHIFT ボタン	9, 17

T

TALLY/GPI	43
TMEM ボタン	18
TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5 端子	44

U

USER ENABLE ボタン	17, 27
USER ボタン	30

W

WHITE BAL A ボタン	6, 7
WHITE BAL B ボタン	6, 7

Z

ZOOM SPEEDダイヤル	22
----------------------	----

か

カラーアジャストENABLE ボタン	5, 27
カラーアジャスト部	5

せ

セットアップソフトウェア	45
--------------------	----

と

トレーシングメモリー操作部	18
---------------------	----

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

©Panasonic Corporation 2012